

蠶  
絲  
業  
法  
規

千  
葉  
縣



037618-000-6

CZ-1431-35-01

蚕糸業法規

千葉県蚕業取締所／編

M45

BBU-0234





特 62  
145

C2  
1431  
25-01

蠶絲業法規

目次

蠶絲業法.....	一
蠶絲業法施行規則.....	一五
蠶絲業法施行手續.....	七八
蠶絲業法施行事務取扱規程.....	一一七
蠶病豫防心得.....	一二九
蠶業取締所規定.....	一三五
種繭審查會規則.....	一三六
蠶業取締所處務規程.....	一四二
蠶種檢查手續料之關之件.....	一四三
蠶絲業法關係法令.....	一四三



重要物産同業組合法

全 施行規則

間接國稅犯則者處分法

全 施行規則

法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタルトキ處罰制

一四三

一五〇

一五七

一六四

一六六

### 蠶絲業法

明治四十四年三月二十八日  
法律第四十七號

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、眞綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病、及ヒ嚙蛆病ヲ謂フ

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並嚙蛆及其ノ蛹、蠅ヲ滅殺シ其他蠶病豫防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ



主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ

第七條 蠶種製造者ハ第十一條第二項及第十二條ノ規定ニ依ル特別蠶種ヨリ産出シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

第八條 蠶種製造者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル繭又ハ蛾ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

- 一 蠶兒ノ合同シテ作りタル繭
- 二 繭層片薄ナル繭又ハ形狀不整ナル繭
- 三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十一、二化性ニ在リ

テハ八、多化性ニ在リテハ七ニ達セサルモノ

四 蠶兒ノ發育不良ニシテ收繭ノ量著シク減少シタルモノ

五 体軀ノ不完全ナル蛾

六 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ニ非サル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ産出シタル繭

第九條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ蠶種製造用ノ蠶兒ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス

第十條 蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄他ノ蠶種製造者又ハ養蠶者ト同一ノ建物又ハ蠶具ヲ共用スルコトヲ得ス



第十一條 蠶種製造者ハ收繭後ニ於テ掃殼及繭、産卵後ニ於テ越年蠶種ニ在リテハ出殻繭及卵、不越年蠶種ニ在リテハ出殻繭ニ付検査ヲ受クヘシ但シ不越年蠶種ニ在リテモ卵ノ検査ヲ受ケシムルコトヲ得  
 蠶種製造者蠶種ヲ特別蠶種ト爲サムトスルトキハ之ヲ框製トシ前項ノ検査ノ外越年蠶種ニ在リテハ母蛾、不越年蠶種ニ在リテハ卵及母蛾ノ検査ヲ受クヘシ

第十二條 主務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ラス原蠶種製造所、學校、講習所、試験場等ニ於テ製造シタル蠶種ヲ特別蠶種ト指定スルコトヲ得

第十三條 地方長官ハ第十一條ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ証印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セサル蠶種ハ之ヲ燒棄スヘシ

第十四條 検査合格ノ証印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其

ノ蠶兒ヲ讓渡シ若ハ飼育シ又ハ第十七條但書ノ規定ニ依リ移入若ハ輸入シタル蠶種ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ妨ケス

第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合格ノ証印ヲ發見シタルトキハ遲滞ナク之ヲ抹消スヘシ

第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス  
 主務大臣必要ト認ムルトキハ學術研究又ハ自家用ノ爲ニスル蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ許可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル處ニ依リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ハ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル特別蠶種及其ノ蠶兒ヲ除クノ外之ヲ讓渡スルコトヲ得ス



第十七條 本法ヲ施行セサル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ハ之ヲ移入シ又ハ輸入スルコトヲ得ス但シ學術研究ノ爲主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限リニ在ラス

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若ハ其ノ讓渡讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ蠶種又ハ繭ノ賣買又ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第二十條 蠶種ノ台紙ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 蠶種ノ冷蔵ヲ業トセムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クハシ

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ

第二十三條 主務大臣及地方長官ハ必要ニ應シ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシムル爲種繭審査會ヲ設クヘシ

種繭審査會ノ設置、組織、權限及審査選定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 第五條、第七條、第八條第六號、第十一條及第卅八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適用セス

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 蠶病豫防事務及地方種繭審査會ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス 但シ國庫ハ其半額以内ヲ補助スルコトヲ得



第二十七條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種検査ニ關シ手数料ヲ徵收スヘシ

八

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ同業組合聯合會及一府縣以上ヲ地區トスル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ同業組合聯合聯合會ニ加入セサル者ハ相互ノ氣脈ヲ通シ及蠶絲類ノ海外貿易ノ發展其ノ他蠶絲業ノ利益増進ヲ圖ル爲全國ヲ地區トシテ蠶絲業同業組合中央會ヲ設置スルコトヲ得  
主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ニ掲ケタル者ノ外同業組合聯合會ニ加入セサル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ蠶絲業同業組合中央會ニ加入スヘキ者ヲ指定スルコトヲ得

第三十條 蠶絲業同業組合中央會ノ設置ヲ發起セムトスル者ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ  
前項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及前條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會、一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサル者及第二十九條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ハ之ニ加入スヘシ

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ會議ハ之ヲ組織スル同業組合聯合會及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル議員ヲ以テ組織スヘシ

九



主務大臣ハ蠶絲業同業組合中央會ノ議員定數ノ五分ノ一ヲ越エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 重要物産同業組合法第六條、第七條及第十一條乃至第十六條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏吏員ハ蠶病豫防ニ關シ蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舗、倉庫、製造場、飼育場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得  
地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ犯罪嫌疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ証明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ

搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第三十六條 當該官吏吏員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條ノ檢査ヲ受ケタル者
- 二 第十四條又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者



第三十九條

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一二

一 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

二 免許ヲ受ケスシテ蠶種冷蔵ノ業ヲ爲シタル者

三 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

四 第七條、第八條又ハ第十六條第三項ノ規定ニ違反シタル者

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十八條、第三十九條第一號第四號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徴ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏員ノ尋問ニ對シ答辨ヲ爲ササル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコト



ヲ得ス但相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ沖繩縣、小笠原島、伊豆七島其ノ他命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ証印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ証印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限リ免許ヲ受ケスシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

蠶絲業法施行規則

明治四十四年十月三日  
農商務省令第三〇號

第一條 蠶絲業法第五條ノ免許ハ蠶種製造場所所在地ノ地方長官之ヲ行フモノトス但シ蠶種製造場所所在地ト蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所所在地トカ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニ於テハ關係地方長官之ヲ行フモノトス



第二條 前條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ蠶種製造場所所在地ノ地方長官ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所

二 蠶種製造場所

三 別ニ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所ヲ有スルトキハ其場所

四 蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所

五 蠶室ノ數及面積、蠶具ノ種類及數並桑園ノ段別又ハ桑葉量

六 掃立蟻量及蠶種製造額概定數

地方長官蠶種製造ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第一號ノ免許証ヲ下付スヘシ

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス

一 掃立蟻量及蠶種製造額概定數ニ對スル蠶室蠶具及桑園ノ設備若ハ桑葉ノ準備ヲ有セサル者

二 三年以上蠶種製造ニ從事セサル者若ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有セサル者又ハ蠶種製造ノ管理者ヲ置カサル者

三 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セサル者

免許ヲ受ケタル蠶種製造者正當ノ理由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲ササルトキ又ハ前項各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ三年以上蠶種製造ニ從事シ又ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有スル者ニシテ前條第一項第三號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス



蠶種製造ノ管理者ハ二人以上ノ蠶種蠶造者ノ業務ヲ管理スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ他ノ蠶種製造者ヲ管理者タルコトヲ得ス

第五條 蠶種製造者ハ左記事項ヲ毎年地方長官ニ届出ツヘシ

一 化性、化期、越年不越年ノ別及名稱

二 掃立豫定月日

三 掃立豫定蛾數及蟻量

四 蠶種製造額豫定數

第六條 蠶種製造者ハ他人ヨリ譲受ケタル蠶兒又ハ種繭ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ避クヘカラサル災害ニ依リ豫定數ヲ製造スルコト能ハサル場合及第七十七條第二項但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 生繭ノ取扱ヲ爲スモノハ左記事項ヲ毎年生繭ノ取扱場所所在地

ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

一 氏名若ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種

二 生繭取扱場所

三 生繭取扱豫定月日

四 生繭取扱豫定數量

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ置キ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ爲ニスル生繭取扱者ニ之ヲ適用セス

第八條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者死亡シ、中途廢業シ又ハ免許願書若ハ第五條又ハ前條ノ届書ノ記載事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ



前項死亡ノ場合ニ於ケル届出ハ其ノ相續人ヨリ之ヲ爲スヘシ

第九條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ被相續人ノ死亡後七日以内ニ許可ノ出願ヲ爲シタルトキハ其ノ拒否ノ處分ヲ受クル迄ノ間引續キ被相續人ノ業務ヲ承繼スルコトヲ得

第十條 蠶種製造者又ハ第七條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル生絲製造者、真綿製造者又ハ生繭ノ賣買、仲立、保管若ハ殺蛹乾繭ニ従事スル者ハ蠶種製造用ノ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所毎ニ様式第二號ノ標札ヲ掲クヘシ

第十一條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆若ハ其ノ蛹、蠅ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スヘシ

第十二條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、

蠶蛹、蠶蛾又ハ其屍體ヲ發見シタルトキハ直チニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ直チニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スヘシ

第十三條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生シ蠶病蔓延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前條ニ規定シタル方法ニ依リテ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第十九條ニ規定シタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ

第十四條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ内圍ニ下部ヨリ高サ二寸ヲ下ラサル障板ヲ設クヘシ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保タシムヘシ



蠶蛆及其蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ構造ノ室ナルトキ又ハ同様ノ容器中ニ生繭ヲ保存スル場合ニ於テハ前項ノ設備ヲ爲スヲ要セス

第一項ノ規定ハ室ノ一部ニ生繭ヲ集散又ハ保存スル場合ニ之ヲ準用ス床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルトキハ床下掃除ヲ行ヒ其塵芥ノ處理ヲ爲スヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ若ハ之ヲ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ綿布、麻布等ヨリ成ル容器中ニ之ヲ納ムヘシ

第十六條 地方長官ハ蠶蛆散逸ノ虞ナキ季節又ハ蠶蛆加害ノ虞ナキ土地ニ於テ蠶兒ノ飼育若ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニハ第七條、第十四條及前條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇以後蠶種ノ製造ヲ終ル迄其ノ建物内ニ自己ノ生産シタル繭ノ外種繭ニ非サル生繭ヲ置クコトヲ得ス

第十八條 蠶種製造者ハ特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾及蠶絲業法第八條第五號ニ該當シタル蛾ヲ乾燥若ハ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入スヘシ

第十九條 蠶種製造者ハ蠶室ハ左記第一號ニ定メタル方法、蠶具ハ左記各號ノ一ニ定メタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ但シ新築ノ蠶室若ハ新調ノ蠶具ニシテ當該官吏吏員必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 「フオルマリン」撒布消毒
- 二 蒸氣消毒

- 三 蟻酸「アルデヒート」瓦斯消毒



當該官吏更員前項ノ消毒ヲ完全ナリト認ムルトキハ様式第三號蠶病消毒濟証ヲ蠶種製造者ニ下付シ不完全ナリト認ムルトキハ更ニ之ヲ行フヘキコトヲ命スヘシ

第二十條 蠶種製造者ハ掃立ノ際蟻量ヲ正確ニ秤量シ直チニ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 蠶種製造者蠶兒ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡サムトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方連署シ蠶種製造者ニ非ラサルトキハ讓渡人ヨリ蠶兒讓渡許可申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ申請アリタルトキハ蠶業取締所ハ讓渡スヘキ蠶兒及之ニ對スル掃殻ト申請書トヲ對照シ讓渡人ニ蠶兒讓渡證明書ヲ、讓受人蠶種製造者ナルトキハ之ニ蠶兒讓受證明書ヲ下付ス

讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ前項ノ手續ヲ終リタル後蠶業取締所ハ其旨ヲ直チニ讓受人所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第二十二條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ニ供用シタル臺紙ヲ再用スルニトヲ得ス

第二十三條 蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵前、不越年蠶種ニ在リテハ第四十五條第一項ノ規定ニ依リ臺紙ヲ差出ス前特別蠶種ハ様式第四號ニ依リ臺紙ノ表面ニ、普通蠶種ハ様式第五號ニ依リ臺紙ノ裏面ニ化性及越年不越年ノ別、名稱、製造者ノ氏名若ハ名稱、住所及製造場所ヲ記載シ尙特別蠶種ニハ種繭證明書ノ異ルモノ毎ニ記號ヲ、記號ノ異ナルモノ毎ニ番號ヲ、普通蠶種ニハ産卵蛾數ヲ記載スヘシ  
前項ノ化性及名稱ハ蠶種ヲ製造スヘキ繭ヲ産出シタル特別蠶種ノ化性



及名稱ヲ襲用スヘシ

蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵後ノ検査前、不越年蠶種ニ在リテハ産卵後直チニ特別蠶種ハ臺紙ノ表面ニ普通蠶種ハ臺紙ノ裏面ニ産卵ノ月日ヲ記載スヘシ

冷蔵ヲ爲ス越年蠶種ニハ化性ノ下ニ冷蔵ノ二字ヲ記載スヘシ

第二十四條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ従事スル者ハ前條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載シタル文字ヲ訂正増加又ハ抹消スルコトヲ得ス但シ蠶種製造者ニシテ自己ノ製造シタル蠶種ニ付検査前ニ在リテハ地方長官ノ承認、検査後ニ在リテハ其ノ許可ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前條ノ規定ニ依リ臺紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加若ハ抹消ヲ承認又ハ許可シタルトキハ其ノ文字ノ上ニ様式第六號ノ變更証印ヲ押捺ス

第二十五條 蠶種製造者ハ蠶種ノ臺紙ヲ縦一尺一寸七分横七寸四分ノ厚紙トシ特別蠶種ニ在リテハ内徑一寸三分以上ノ圓環ヲ容ルルコトヲ得ハキ區劃二十八個ヲ設ケ一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附シ普通蠶種ニ在リテハ百蛾以内ヲシテ一枚ニ産卵セシムヘシ

第二十六條 蠶絲業法第十一條ノ規定ニ依ル検査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フ但シ不越年特別蠶種ニ在リテハ第三號ノ検査ヲ第二號ノ検査前ニ之ヲ行フコトヲ得

- 一 收繭後ノ検査 繭、掃殼
- 二 産卵後ノ検査 卵、出殼繭

不越年普通蠶種ニ在リテハ出殼繭

- 三 母蛾ノ検査 特別蠶種ト爲スヘキモノ、母蛾



第二十七條 前條規定ノ收繭後ノ検査及産卵後ノ検査ハ肉眼ニ依リ對照シテ之ヲ行ヒ不越年普通蠶種ノ出殻繭ノ検査ハ肉眼ニ依リ之ヲ行ヒ母蛾ノ検査ハ顯微鏡ヲ用井テ之ヲ行フ

第二十八條 地方長官必要ト認ムルトキハ不越年普通蠶種ノ卵ノ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ハ肉眼ニ依リ卵ト出殻繭トヲ對照シテ之ヲ行フ

第二十九條 地方長官ハ左記各號ノ一ニ該當シタル場合ニ於テハ其蠶種

- 一 對シ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得
- 二 有毒蛾區ノ切拔多キ特別蠶種ヨリ掃立タルコト
- 三 微粒子病ニ罹レル蠶兒、蠶蛹又ハ蠶蛾多キコト
- 四 蠶絲業法第八條第二號又ハ第三號ニ該當シタル繭多キコト
- 五 蠶絲業法第八條ニ違反シタル疑アルコト

五 特別蠶種ノ母蛾ノ取替若ハ混乱ノ疑アルコト

第三十條 普通蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ蠶種一枚ニ付十鏡面ヲ檢シ三鏡面以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其蠶種ハ之ヲ不合格トス

特別蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ハ母蛾検査ニ於テ無毒ト認メラシタル區毎ニ一鏡面ヲ檢シ十分ノ一區未滿ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ其區ハ之ヲ不合格トシ十分ノ一區以上ノ微粒子ヲ發見シタルトキハ特別用印ヲ取消シ之ヲ普通蠶種トス

第三十一條 地方長官第二十九條ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ同一ノ種繭証明書ヲ有スル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニシテ其製造額ノ十分ノ二ニ相當スル數量ニ付前條ノ規定ニ依ル検査ヲ行ヒ特別蠶種ニ在リテハ其ノ十分ノ五以上ヲ普通蠶種ニ、普通蠶種ニ在リテハ其ノ全部ヲ不合格ニ爲シタルトキハ其ノ製造ノ全部ニ對シ同一ノ處分ヲ爲スコト



ヲ得但シ此ノ場合ニ於テ第三十四條第二項ニ依リ區別シタル種繭ニ對シ各別ニ交付シタル種繭證明書ハ之ヲ同一ノモノト看做ス

前條第二項又ハ前項ノ規定ニ依リ特別蠶種ヲ普通蠶種ニ爲シタル場合ニ於テ其ノ蠶種ノ産卵區ニ押捺シタル無毒印ハ之ヲ取消ス

第三十二條 地方長官必要ト認ムルトキハ第三十條第二項、前條第一項、第五十四條又ハ第五十五條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲シタル蠶種ニ對シ第三十條第一項ノ規定ニ依ル検査ヲ行フコトヲ得

第三十三條 收繭後ノ検査、越年特別蠶種及普通蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶種製造場所ニ付之ヲ行ヒ母蛾ノ検査、第三十條ノ検査及不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フ但シ地方ノ狀況ニ依リ不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭ノ検査ヲ蠶種製造場所ニ於テ行フコトヲ得

第三十四條 蠶種製造者ハ收繭後ノ検査ヲ受クル前種繭ト爲サムトスルモノヲ選別シ其ノ枳量ト收繭總枳量トヲ量定シ且蠶絲業法第八條第一號乃至第三號ニ該當スル繭及種繭ト爲ササル繭ノ殺蛹ヲ爲スヘシ  
第七十四條ノ審査ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ種繭ト爲サムトスル繭ニ付審査ヲ受ケムトスルモノト否トヲ區別スヘシ

第三十五條 蟻量一匁ニ對シ收繭ノ量一化性ニ在リテハ二斗未滿、二化性ニ在リテハ一斗六升未滿、多化性ニ在リテハ一斗三升未滿ナルトキハ蠶絲業法第八條第四號ニ該當スルモノトス

第三十六條 翅肢ノ缺如若ハ萎縮、鱗毛ノ剝脫、體色ノ異變又ハ腹部ノ過大其ノ他形態ノ整ハサル蛾ハ蠶絲業法第八條第五號ニ該當スルモノトス

第三十七條 蠶種製造者ハ收繭後ノ検査ヲ終ル迄掃殼及繭ヲ、産卵後ノ



検査ヲ終ル迄出殻繭ヲ蠶種製造場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合又ハ讓渡シタル蠶兒ニ對スル掃殻ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 蠶種製造者ハ化性、名稱、製造者又ハ製造場所ノ異ナル蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、蛾、卵、飼育場所ノ異ナル蠶兒、繭、蛾、卵ヲ混同スルコトヲ得ス地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭、其ノ審査ニ合格シタル種繭及其ノ蛾、卵ニ在リテモ亦同シ但シ收繭後ノ検査ヲ終リタル繭ニシテ種繭ニ非サルモノ、産卵後ノ検査ヲ終リタル出殻繭及特別蠶種ノ母蛾ヲ除クノ外蠶種製造ニ供用シタル蛾ハ此ノ限リニ在ラス

第三十九條 地方長官ハ蠶種製造者ニ對シ化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ用井ル掛合蠶種ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

第四十條 掛合蠶種ノ化性ハ雌蛾ニ依リ名稱ハ雌蛾若ハ雄蛾ニヨリ掛合ナル文字ヲ冠スヘシ

第四十一條 蠶種製造者ハ地方長官ノ許可ヲ得テ第二十三條第二項ノ規定ニ依リ襲用スヘキ化性及名稱ヲ變更スルコトヲ得

前項ニ依リ許可ノ出願アリタルトキハ地方長官ハ當該官吏吏員ヲ臨檢セシメ適當ト認メタルトキハ其ノ許可ヲ與フヘシ

第四十二條 收繭後ノ検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ其ノ繭ヲ産出シタル蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ蠶兒ノ掃立時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ、第三十四條第二項ノ場合ニ於テハ各別ニ様式第七號種繭証明書ヲ蠶種製造者ニ下付シ検査ヲ終リタル掃殻ノ臺紙ニハ様式第八號掃殻検査濟印ヲ押捺ス

掛合蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭及第四十一條第二項ノ規定ニ依リ名



稱ノ變更ヲ許可シタル種繭ノ柀量ハ之ヲ種繭証明書ニ記載スヘシ

第四十三條 蠶種製造者種繭証明書ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所ニ其再下付ヲ請求スルコトヲ得但シ毀損シタル種繭証明書ハ其ノ請求書ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ再下付ヲ爲シタル種繭証明書ニハ様式第九號再下付印ヲ押捺ス

第四十四條 蠶種製造者種繭ヲ他人ニ讓渡サムトスル場合ニ於テ其ノ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方連署シ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ、種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭証明書ノ書換ヲ、一部ノ讓渡ニ付テハ讓渡人ハ種繭証明書ノ書換ヲ、讓受人ハ種繭証明書ノ下付ヲ請求シ其ノ讓受人蠶種製造者ニ非サルトキハ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ種繭ノ全部讓渡ニ付テハ種繭証明書ヲ返納シ一部ノ讓渡ニ付テハ其ノ書換ヲ請求

スヘシ

前項ノ規定ニ依リ種繭ノ授受ヲ終リタルトキ讓受人蠶種製造者ナルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ所轄蠶業取締所ニ届出ツヘシ

第一項ノ書換又ハ下付ヲ爲シタル場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ニシテ讓渡人ト蠶業取締所ノ管轄ヲ異ニスルトキハ蠶業取締所ハ其ノ旨ヲ遲滞ナク讓受人ノ所轄蠶業取締所ニ通知スヘシ

第四十五條 蠶種製造者不越年蠶種ノ種繭証明書ノ下付ヲ受ケタルトキハ臺紙及種繭証明書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出シ特別用印又ハ普通蠶種検査合格証印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ様式第十號特別用印又ハ様式第十一號普通蠶種検査合格証印ヲ臺紙ノ裏面ニ押捺シ特別用及普通用ノ臺紙ノ數並普通蠶種ノ産卵蛾數ヲ種繭証明書ニ記載ス



第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲スヘキ不越年蠶種ニハ様式第十一號普通蠶種検査合格証印ヲ押捺ス  
 不越年蠶種ノ特別用印、特別蠶種検査合格証印又ハ普通蠶種検査合格証印ハ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサルトキハ現存セサル蠶種ニ付テハ之ヲ無効トシ現存セル蠶種ニ付テハ之ヲ取消シ其ノ蠶種ヲ不合格トス

第四十六條 不越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第二十八條第二項ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭証明書ニ様式第十二號出殻繭検査済印ヲ押捺ス

蠶種製造者不越年蠶種ノ製造ニ供用セサル臺紙アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル証印ノ取消ヲ受クヘシ

第四十七條 蠶種製造者不越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受クムトスルト

キハ製造後遲滞ナク蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ  
 前項ノ蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受クムトスルトキ蠶種及出殻繭ニ付亦同シ但シ第三十三條但書ノ場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 産卵後ノ検査ニ合格セサル蠶種、第二十八條第二項ノ検査ニ合格セサル蠶種、第三十條第一項、第三十一條第一項及第四十五條第四項ノ規定ニ依ル不合格蠶種ニハ様式第十三號不合格印ヲ其ノ臺紙ノ裏面ニ押捺ス

第四十九條 越年蠶種ニシテ産卵後ノ検査又ハ第三十條第一項ノ検査ニ合格シタルトキハ特別蠶種ニ在リテハ様式第十號特別用印ヲ、普通蠶種及第三十條第二項又ハ第三十一條第一項ノ規定ニ依リ普通蠶種トスヘキモノニ在リテハ様式第十一號普通蠶種検査合格証印ヲ押捺ス  
 越年蠶種ノ産卵後ノ検査ニ合格シタル出殻繭ニ對シテハ其ノ種繭証明



書ニ様式第十二號出殻繭検査済印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種製造者越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ  
蠶種及母蛾ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第五十一條 母蛾ノ顯微鏡検査ニ於テ微粒子ヲ發見シタルトキハ様式第  
十四號有毒印ヲ、微粒子ヲ發見セサルトキハ様式第十五號無毒印ヲ其  
産卵シタル區ニ押捺シ其有毒印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ不合格トス  
母蛾ノ亡失又ハ混乱シタル區ニハ様式第十六號缺蛾印ヲ押捺ス  
有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區ハ之ヲ除去シタル後臺紙ノ裏面ニ様  
式第十七號特別蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第五十二條 蠶種製造者前條第三項ノ規定ニ依リ除去セラレタル區又ハ  
自己ノ必要ニ依リ除去シタル區ニ無毒ノ印ヲ押捺セラレタル區ヲ填補  
セムトスルトキハ所轄蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ原蠶種以外

ノ特別蠶種ニシテ母蛾検査前ニ於テ化性、名稱ヲ記載シ無毒ノ印ヲ押  
捺セラレタル區ヲ以テ同一ノ種繭證明書ヲ有スル種繭ヨリ製造セラレ  
タル蠶種ニ填補セムトスルトキハ蠶業取締所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行  
フコトヲ得

前項ニ依リ填補シタル區ニハ其繼目ニ様式第十八號繼印ノ押捺ヲ受ク  
ヘシ

第五十三條 蠶種ヲ截斷シテ讓渡サムトスル者ハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷  
スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第二十三條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ  
記載シ検査合格証印ノ押捺ヲ、原蠶種ニ在リテハ尙原蠶種印ノ押捺ヲ  
受クヘシ

第五十四條 蠶種製造者特別蠶種ノ製造ニ供用シタル母蛾亡失又ハ混乱  
シタルトキハ其ノ蠶種ニ對シ普通蠶種検査合格証印ノ押捺ヲ請求スル



コトヲ得

第五十五條 地方長官ハ特別蠶種ノ母蛾ニ高熱ヲ加ヘ又ハ故意若ハ過失ニ依リ顯微鏡検査ヲ困難ナラシメタルモノニハ母蛾ノ検査ヲ拒ムコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知スヘシ

蠶種製造者ハ前項ノ規定ニ依リ母蛾ノ検査ヲ受クルコトヲ得サル蠶種ニ對シ普通蠶種検査合格証印ノ押捺ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 蠶絲業法第十五條又ハ本則第三十條第二項、第三十一條第一項、第四十五條第四項及第四十六條第二項ノ規定ニ依リ証印ヲ取消サムトスルトキ又ハ第五十四條若ハ前條第二項ノ規定ニ依リ普通蠶種検査合格証印ノ押捺ヲ請求シタル爲特別用印ノ必要ナキトキハ其ノ証印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ、第三十一條第二項ノ規定ニ依リ無毒印ヲ取消サムトスルトキハ其ノ証印ノ上ニ様式第二十號消印ヲ押捺ス

第五十七條 第二十條、第二十一條及第三十八條ノ規定ハ蠶種製造者カ蠶種ノ製造ニ供用セサル蠶兒ヲ飼育スル場合ニ於テ其ノ蠶兒及繭ニ之ヲ適用セス

第五十八條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育シ得ヘキ地方ハ農商務大臣之ヲ指定ス

前項指定地域内ニ於テ自家用蠶種ヲ製造シ其ノ蠶兒ヲ飼育セムントスル者ハ蠶絲業法第十六條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第五十九條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造セムトスル者ハ其ノ旨ヲ毎年蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲シタル者届出事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ本人ヨリ本人死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十條 自家用蠶種ニハ框製ニ在リテハ臺紙ノ表面ニ、普通製ニ在リ



テハ臺紙ノ裏面ニ化性、名稱、自家用ノ文字及製造者ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

第六十一條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造シタル者ハ化性、化期、名稱及框製、普通製ノ別ニ依リ其製造額ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第六十二條 自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニハ蠶絲業法第八條第一號乃至第五號ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 地方長官必要ト認ムルトキハ自家用ノ爲蠶種ヲ製造スル者ニ對シ蠶絲業法及本則ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第六十四條 農會、蠶絲業ニ關スル組合其ノ他ノ団体ハ蠶絲業法ト同一ノ目的ヲ以テ検査合格ノ証印アル蠶種ヲ検査スルコトヲ得ス但シ蠶絲業ニ關スル同業組合ニシテ組合員ノ製造シタルモノニ限り希望ニ依リ普通蠶種又ハ自家用蠶種ノ卵ノ顯微鏡検査ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ

於テハ其ノ蠶種ノ臺紙ニ病毒歩合ヲ記載スルノ外合否ノ決定ヲ爲シ又ハ殺卵若ハ燒棄ヲ爲スコトヲ得ス

第六十五條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サムトスル者ハ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レムトスル者前項ニ同シ

第六十六條 前條第一項及第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所又ハ所在地

二 研究ノ目的

三 研究ノ期間



四 研究ノ方法

五 研究ニ従事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名並履歴ノ要領

前條第二項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ尙其ノ適用ヲ免レムトスル範圍ヲ記載スヘシ

前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル學校、講習所、試験場等ハ其ノ校長、所長、場長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ以テ主管者トシ直接執務ノ任ニ當ル職員ヲ研究ニ従事スル者ト看做ス

第六十七條 學術研究ノ爲蠶種ノ移入又ハ輸入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ都度前條第一項ノ各號ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ第六十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル許可ト同時ニ若ハ其ノ後ニ此ノ許可ヲ受ケムトスル場合ニシテ前條第一項ノ各號ニ掲ケタル事項同一ナルトキハ申請書ニ左記事

項ヲ記載スルヲ以テ足ル

一 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ製造地及名稱

二 移入又ハ輸入スヘキ蠶種ノ數量

農商務大臣ハ前條第二號ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第六十八條 國、道府縣、郡市其ノ他ノ團體ニ於テ設置シタル學校、講習所又ハ試験場等ニシテ蠶絲業ニ關スル學識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蟻量十五匁以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室蠶具其ノ他ノ設備ヲ有スルトキハ第六十五條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ得テ製造シタル蠶種ヲ農商務大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得  
前項ノ許可ヲ受ケ配付スヘキ蠶種ノ數量ハ農商務大臣之ヲ制限スルコトヲ得

第六十九條 前條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ



左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備
- 二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規定
- 三 蠶種ノ配付豫定額
- 四 蠶種ヲ配付セムトスル期間

五 養蠶及蠶種製造ニ關スル職員ノ氏名及履歷ノ要領

第七十條 第六十六條第一項及前條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第六十五條第一項第二項又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル者中途學術ノ研究又ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第七十一條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ第六十五條第一項第二項又

ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十二條 道府縣ニ於テ蠶種ノ製造ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シ若ハ廢止シタルトキ亦同シ

- 一 製造場所ノ名稱及所在地
- 二 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備
- 三 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規定
- 四 蠶種ノ製造ニ從事スヘキ技術者ノ氏名及履歷ノ要領

第七十三條 第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試験場等ハ配付蠶種ノ臺紙ニ様式第二十一號ノ証印ヲ、道府縣ハ其ノ配付蠶種ノ臺紙ニ様式第二十二號ノ証印ヲ押捺シ其ノ製造及検査ノ方法ハ本則中特別蠶種ニ關スル規定ニ準スヘシ

前項ノ蠶種ハ蠶絲業法第十二條ニ依リ特別蠶種ト指定シタルモノト看



做ス

四八

第七十四條 原蠶種ヲ製造セムトスル蠶種製造者ハ其ノ種繭ニ對シ地方種繭審査會ノ審査ヲ受クルコトヲ得

第七十五條 前條ノ審査ヲ受ケムトスル蠶種製造者ハ種繭審査請求書ヲ地方長官ニ、其ノ種繭ハ之ニ種繭證明書ヲ添付シ地方長官ノ指定シタル場所ニ差出スヘシ

第七十六條 地方長官ハ當該官吏吏員ヲシテ收繭後ノ検査ノ場合ニ於テ地方種繭審査會ノ審査ヲ受ケムトスル種繭ノ全部又ハ一部ニ封緘ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條 蠶種製造者ハ種繭證明書ナキ種繭ニ付第七十四條ノ審査ヲ請求スルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ自己ノ生産セサル種繭ヲ以テ原蠶種印ノ押捺ヲ受クヘキ

蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス但シ郡市、郡市以上ヲ地域トスル農會又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ハ之ノ限ニ在ラス

第七十八條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ノ種繭證明書ニハ様式第二十三號種繭審査合格証印ヲ押捺ス

第七十九條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ノ母蛾検査ヲ請求スル爲第四十七條第一項又ハ第五十條ノ規定ニ依リ蠶種及母蛾ヲ蠶業取締所ニ差出サムトスル者ハ之ニ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル種繭ノ種繭證明書ヲ添付スヘシ

第八十條 地方種繭審査會ノ審査ニ合格シタル種繭ヲ以テ製造シタル特別蠶種ニハ第五十一條第三項ノ處分ヲ爲シタル後様式第二十四號原蠶種印ヲ押捺ス

道府縣ハ其ノ製造シタル原蠶種ニ様式第二十五號原蠶種印ヲ押捺スヘ

四九



第八十一條 蠶種製造者原蠶種印アル蠶種ヲ蠶種製造者以外ノ者ニ讓渡サムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ原蠶種印ノ取消ヲ受クヘシ但シ道府縣ノ製造ニ係ルモノハ道府縣之ヲ取消スヘシ  
前項ノ取消ヲ爲サムトスルトキハ原蠶種印ノ上ニ様式第十九號消印ヲ押捺スヘシ

第八十二條 道府縣ニハ本則中第五條、第六條、第七條、第十條、第十七條、第十九條第二項、第七十五條及第七十七條ノ規定ヲ適用セス  
第八十三條 蠶絲業法第二十一條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ冷蔵ノ場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ差出スヘシ

一 氏名若ハ名稱及住所

- 二 管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名、住所及履歴ノ要領
  - 三 冷蔵ノ場所所在地及名稱ヲ付シタルトキハ其ノ名稱
  - 四 風穴、氷室又ハ冷蔵装置ノ構造並其ノ圖面
  - 五 冷蔵シ得ヘキ場所ノ容積及蠶種ノ數量
  - 六 冷蔵ノ始期及終期ノ豫定月日
  - 七 前期ノ冷蔵期間ニ於ケル温度及濕度
- 地方長官蠶種冷蔵業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第二十六號ノ免許証ヲ下付スヘシ
- 第八十四條 前條ノ免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、中途廢業シ又ハ免許願書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ本人ヨリ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
前項死亡ノ場合ニ於テ其ノ相續人被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルト



キハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第八十五條 蠶種冷蔵業者ハ蠶種ノ一時保管又ハ其ノ取扱ヲ爲ス場所ヲ設クルコトヲ要ス

前項ノ場所ニハ火氣、有毒瓦斯其ノ他蠶種ニ危害ヲ及ホスヘキ虞アル狀況ヲ防止スヘシ

第八十六條 蠶種冷蔵業者ハ其ノ冷室ニ左記各號ニ該當スル施設ヲ爲ス

コトヲ要ス

- 一 正確ナル寒暖計及檢濕計ヲ備フルコト
- 二 蠶種ノ容器ヲ配置スル爲内部ニ柵ヲ設クルコト
- 三 蠶種ヲ收容スヘキ室ハ亞鉛板等ニテ張ルカ又ハ蠶種ノ容器ヲ亞鉛板及木材ヲ用井タル二重箱トシ密閉シ得ル構造ト爲スコト
- 四 容器ニ蠶種ヲ藏ムルニハ蠶種一枚ニ付特別蠶種ニアリテハ一厘以

上、普通蠶種ニ在リテハ四厘以上ノ間隔ヲ保タシムルコト

五 蠶種ニ危害ヲ及ホスヘキ物ヲ同時ニ貯藏セサルコト

第八十七條 蠶種ノ冷蔵ニ供用スヘキ冷室内ハ其ノ冷蔵期間温度ハ華氏三十二度以上四十度以下湿度ハ七十度以上九十八度以下ナルコトヲ要ス

地方長官ハ越年蠶種ニ在リテハ冷蔵ノ始期又ハ終期ニ依リ不越年蠶種ニ在リテハ冷蔵期間ノ長短ニ依リ前項ノ温度又ハ湿度ヲ變更スルコトヲ得

第八十八條 蠶種冷蔵業者ハ冷蔵期間風穴又ハ氷室ヲ用井ルトキハ三日毎ニ其ノ温度ヲ、其ノ他ノ冷蔵装置ヲ用井ルトキハ毎日其ノ最高最低温度ヲ冷室ノ内氣外氣ニ分チ觀測シ毎年之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
地方長官ハ特別ノ事情アル者ニ對シ前項ノ觀測期日ニ據ラシメサルコ



トヲ得

第八十九條 死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス  
但シ其ノ生繭ヲ搬出セシメサル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第九十條 蠶種ノ行商ヲ爲サムトスルモノ又ハ營業者ニシテ店舗以外ノ  
場所ニ於テ生繭ノ賣買ヲ爲サムトスル者ハ様式第二十七號ノ鑑札ヲ携  
帶スヘシ雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ之ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各從  
業者ニ様式第二十八號ノ鑑札ヲ携帯セシムヘシ

第九十一條 前條ノ規定ニ依ル鑑札ノ下付ハ住所地ノ地方長官ニ出願ス  
ヘシ

第九十二條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ  
區域ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重

要物産同業組合法施行規則第三條乃至第十條ノ規定ヲ準用シ同規則第  
十二條ノ規定ヲ適用セス但シ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合ノ代表  
者タルコトヲ要ス

前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セス  
蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類  
ヲ記載スヘシ

第九十四條 蠶絲業同業組合中央會設置ノ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業  
組合聯合會及同業組合ノ代表者ニシテ其ノ數ハ十名以上タルコトヲ要  
ス

第九十五條 蠶絲業法第三十三條ニ依ル議員ノ定數、配當及其ノ選出方  
法ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第九十六條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員ヲ選舉セムトスルトキハ之ト



同時ニ同數ノ補缺議員ヲ選舉スヘシ

第九十七條 蠶絲業同業組合中央會議員、其ノ補缺議員及特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三年トス但シ議員缺員ノ場合ニ於テ補缺議員ヲ以テ補充シタルトキハ其ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス  
特別議員ノ任期ハ農商務大臣之ヲ伸縮スルコトヲ得

第九十八條 蠶絲業同業組合中央會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ  
會長 一名

副會長 二名

評議員 若干名

第九十九條 會長、副會長ハ議員及特別議員中ヨリ議員及特別議員ニ於テ之ヲ選舉シ評議員ハ議員中ヨリ其ノ三分ノ二特別議員中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一百條 會長ハ會務ヲ總理シ會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

評議員ハ他ノ役員ヲ兼ムルコトヲ得ス

第一百一條 蠶絲業同業組合中央會ノ事務權限ハ左ノ如シ

一 蠶絲業上ノ弊害ヲ矯正シ且蠶絲業ノ發達ヲ圖ルニ必要ナル方案ヲ調査スルコト

二 蠶絲業ニ關スル法規ノ制定改廢施行ニ關シ意見ヲ表示スルコト

三 蠶絲業ニ關スル事項ニ付農商務大臣ノ諮問ニ應スルコト

四 内外蠶絲業ノ狀況及統計ヲ調査發表スルコト



五 其ノ他蠶絲業ノ改良發達上特ニ必要ナル事項ヲ行フコト

第一百二條 重要物産同業組合法施行規則第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十九條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ハ蠶絲業同業組合中  
 央會ニ之ヲ準用ス但シ第十條、第十四條及第二十一條乃至第二十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ地方長官ハ之ヲ農商務大臣トス

第一百三條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セムトスルトキハ當該蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ鄰佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
 收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施行シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人之ニ署名捺印スヘシ立會人署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第一百四條 地方長官當該官吏吏員ヲシテ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サシメムトスルトキハ其ノ身分ヲ證明スル爲様式第二十九號ニ依ル証票ヲ携帯セシムヘシ

第一百五條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第一百六條 蠶種ノ製造ヲ爲シタル道府縣又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所、試驗場等ハ毎年一月三十一日迄ニ様式第三十號ニ依リ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第一百七條 地方長官ハ毎年五月十五日迄ニ前年度ノ蠶病豫防事務成績及蠶種冷蔵業取締成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第一百八條 地方長官蠶絲業法及本則施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ



第九條 道府縣ハ蠶絲業法第二十二條及府縣制第七十五條ノ規定ニ依リ蠶業取締吏員及蠶種検査吏員ヲ置クヘシ

第十條 本則ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ蠶絲業同業組合中  
央會ヨリ差出スヘキ者ヲ除キ地方長官ヲ經由スヘシ

第十一條 第七條第一項第二項、第十七條、第二十二條、第二十四條  
第一項、第三十七條、第三十八條、第四十六條第二項、第五十二條第  
二項、第五十九條第一項、第六十條、第六十四條、第七十七條第二項、  
第八十一條第一項、第八十九條又ハ第九十條ノ規定ニ違反シタルモノ  
又ハ第四十六條第二項ノ規定ニ依ル消印ナキモノヲ他人ニ讓渡シ若ハ  
情ヲ知リテ讓受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第十條、第  
六十一條、第八十八條第一項、第二十三條第三項ニ依ル不越年普通蠶  
種ニ關スル規定ニ違反シタル者又ハ第八條、第五十九條第二項、第七

十條第一項又ハ第八十四條第一項ニ依リ願書、申請書又ハ届書記載事  
項ノ變更ノ届出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

附 則

第十二條 本則ハ明治四十四年法律第四十七號蠶絲業法施行ノ日ヨリ  
之ヲ施行ス

明治三十八年農商務省令第七號蠶病豫防法施行規則ハ之ヲ廢止ス

第十三條 本則施行前蠶病豫防法施行規則第十條ニ依リ爲シタル消毒  
ハ本則ニ規定スル方法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第十四條 蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ文字記載ノ方法ハ明治四十六年十  
二月三十一日迄様式第四號又ハ第五號ニ依ラサルコトヲ得

普通蠶種ノ製造ニ供用スヘキ臺紙ノ寸法ハ明治四十六年十二月三十一  
日迄第二十五條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得



第一百五條 蠶絲業法第四十八條ニ依リ指定スル地域左ノ如シ

釧路國、根室國、北見國禮文郡及千島

第一百十六條 蠶病豫防事務所カ検査ノ爲受理シタル原種ニシテ本則施行

前其ノ検査ヲ終了セサルモノニ付テハ本則施行後ト雖尙蠶病豫防法ノ

規定ニ依リ之カ處分ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ニ依リ検査シタル原種ハ蠶病豫防法ニヨリ検査シタルモノ

ト看做ス

樣式

第一號

第 號	蠶種製造免許證
住 所	氏 名 (名稱)
蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者 タルコトヲ免許ス	年 月 日
道 府 縣 團	

紙 六寸  
縱 六寸  
横 八寸



號二第

號三第

號四第

面紙種特  
ノノ別  
表臺蠶

(上以分五)

性 (藏)	化 (冷)	別	越 年 ノ	越 年 不	稱	名	住 所	氏 名 (名稱)	製 造 場 所	記 號 番 號	產 卵 月 日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

五寸

六五

業種

住所

氏名(名稱)

蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所

木札 縦一尺五寸以上 横四寸以上

厚四分以上

飼育又ハ製造場所

蠶種製造者 氏名(名稱)

蠶病消毒濟証

年月日

蠶業取  
締所印

紙 縦四寸 横二寸

六四



第 六 號  
第 六 號

變更証  
道府縣

圓 經  
直 經 五 分  
肉 色 朱

六七

第 五 號

普通種紙面  
蠶臺裏

(二 寸)

	性 化 (藏 冷)
	別 越 越 年 年 ノ 不
	稱 名
	住 所 氏 名 (名稱) 製 造 場 所
	蛾 產 數 卵
	月 產 日 卵

五 寸

六六



第七號

種繭證明書  
第 號 (記號)

蠶種製造者 住 氏 所

飼育ノ場所 名 (名稱)

- 一 原蠶種ノ製造場所
  - 二 化性及化期
  - 三 名稱
  - 四 種繭掛量
  - 五 一升ノ顆數
  - 六 發蛾ノ歩合
- 右種繭検査ニ合格シタルコトヲ証ス  
年 月 日

道府縣蠶業取締所 印

蠶業取締官  
吏(吏員)印

紙 縱四寸  
横六寸

注意

種繭移動ノ場合ニ於テハ其ノ種繭ヲ生産シタル者ノ住所氏名(名稱)及此ノ様式以外ニ記載スヘキ事項ハ其ノ裏面ヲ用井月日ヲ記シ蠶業取締官吏(吏員)之ニ捺印スヘシ

第八號



楕圓形  
長徑一寸  
短徑六分  
肉色黑

第九號



長方形  
縱一寸二分  
横五分  
肉色朱

第十號



圓 徑  
直徑七分  
肉色朱

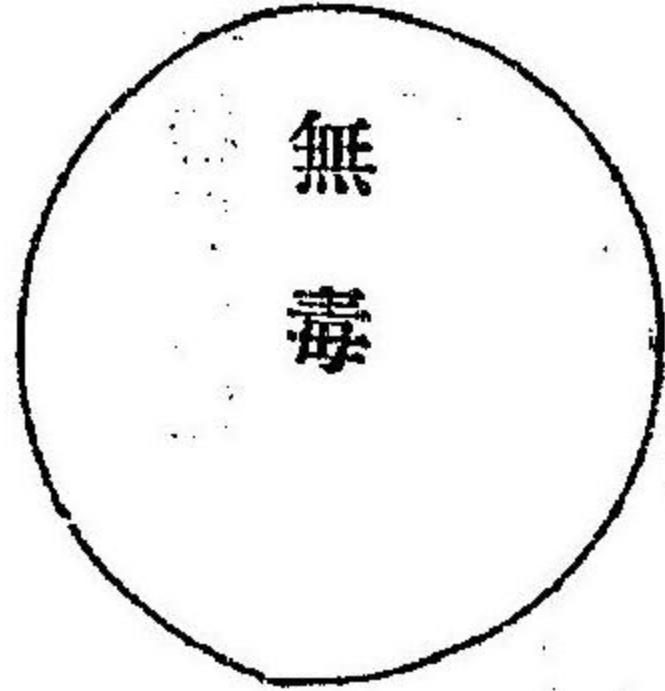


號七十第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號五十第



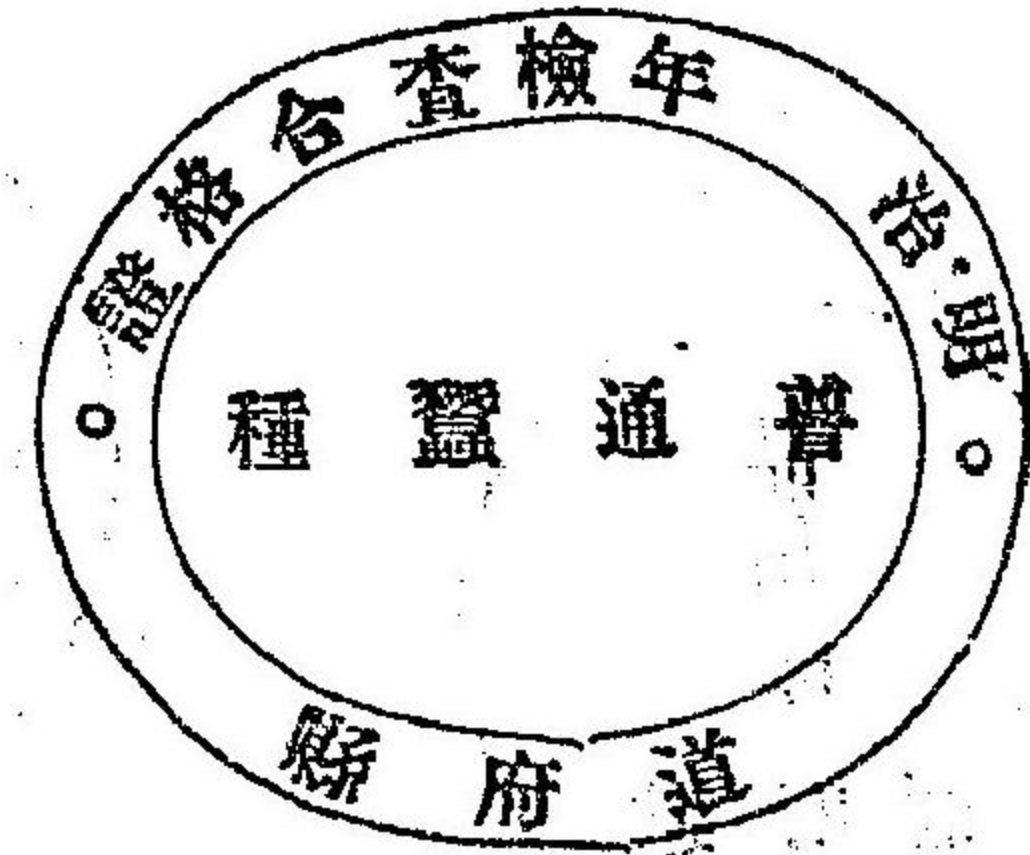
圓形  
直徑二分五厘  
肉色朱

號三十第



長方形  
縱一寸  
橫五分  
肉色黑

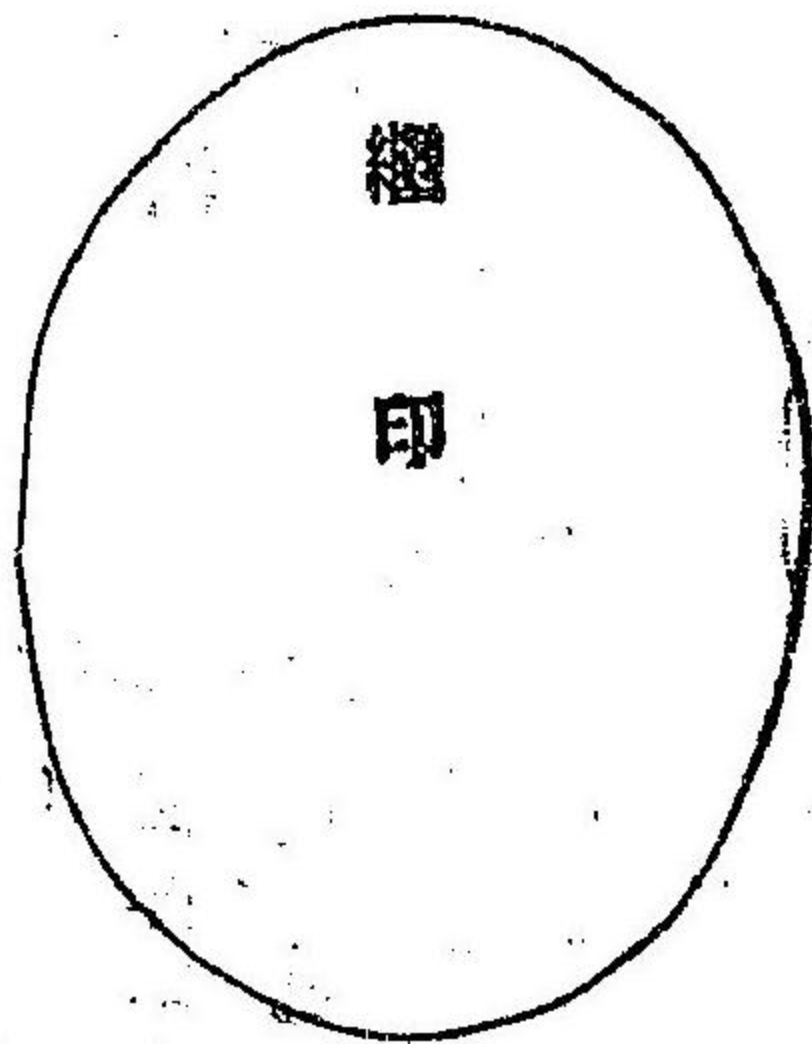
號一十第



橢圓形  
長徑一寸五分  
短徑一寸  
肉色朱

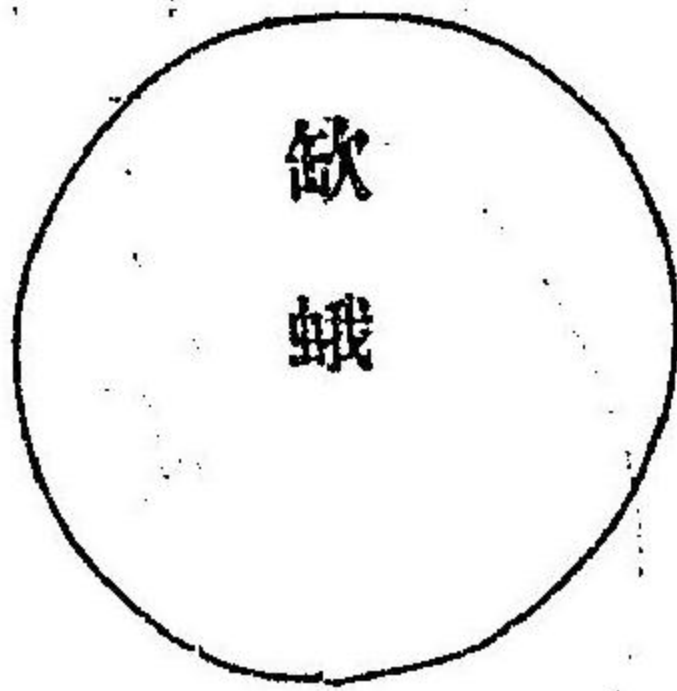
號六十第

號八十第



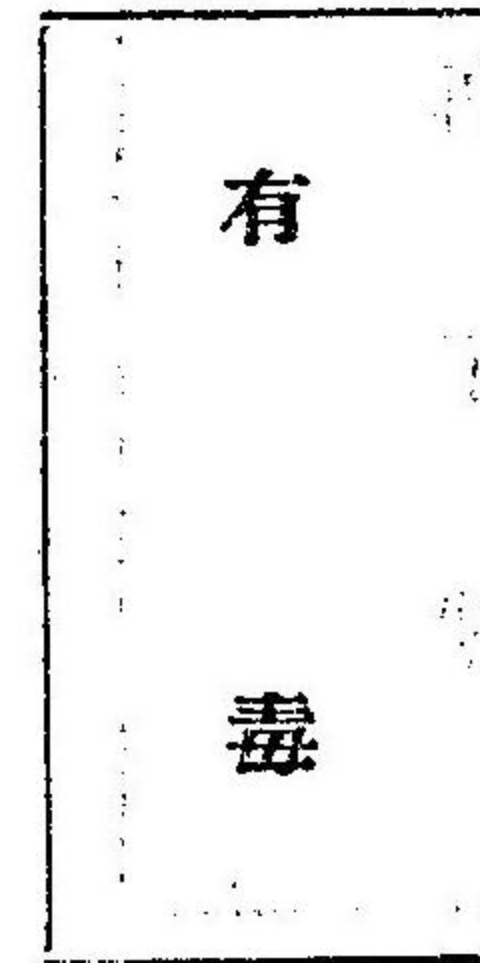
橢圓形  
長徑三分  
短徑二分  
肉色朱

飲蛾



圓形  
直徑二分五厘  
肉色青

號四十第



長方形  
縱三分  
橫二分  
肉色黑

號二十第



橢圓形  
長徑一寸  
短徑六分  
肉色黑



號三十二第



楕圓形  
長徑一寸五分  
短徑一寸  
肉色朱  
外線ヲ太クシ  
内線ヲ細クス

號四十二第



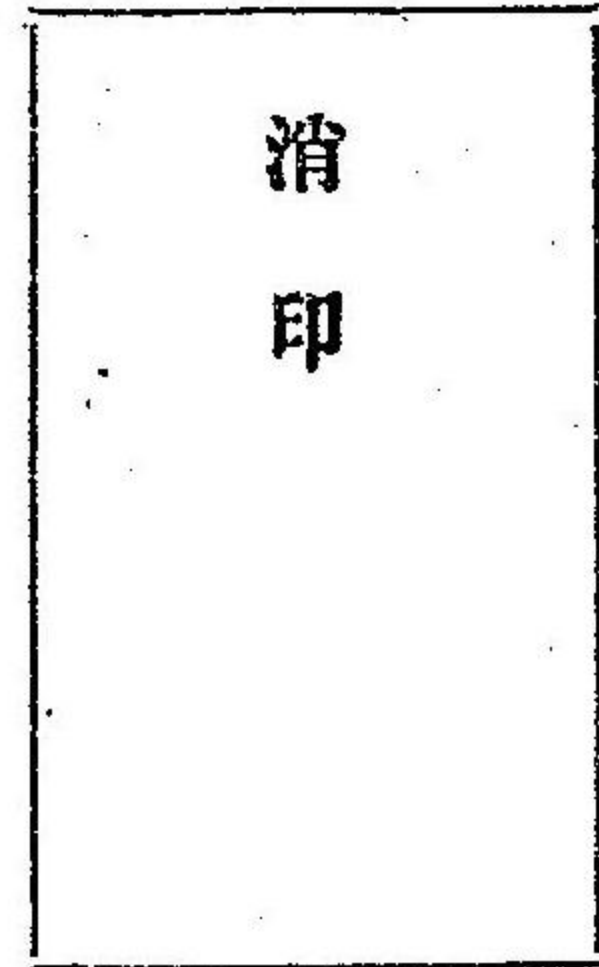
圓形  
直徑一寸五分  
肉色青  
外線ノ二線中  
外線ヲ太クシ  
内線ヲ細クス

號一十二第



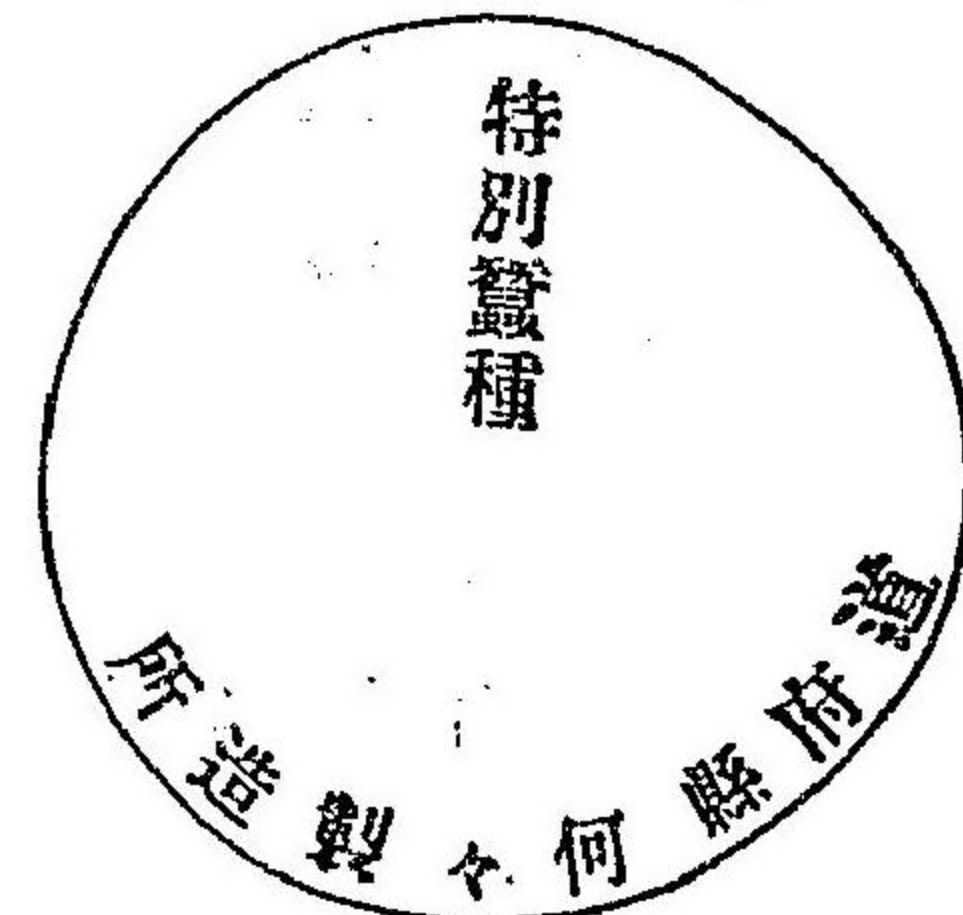
圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號九十第



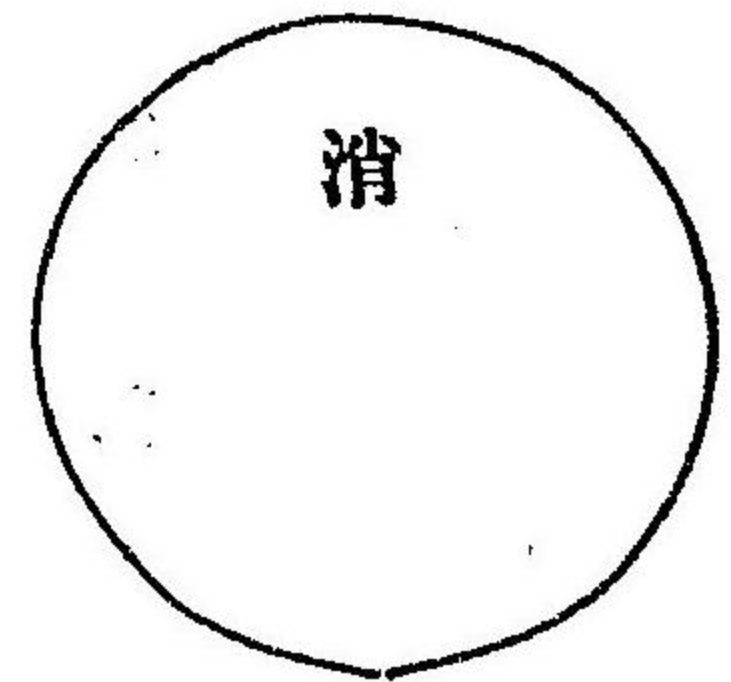
長方形  
縱一寸  
橫五分  
肉色黑

號二十二第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色朱

號十二第



圓形  
直徑二分五厘  
肉色黑



號五十二第



圓形  
直徑一寸五分  
肉色青  
外縁ノ二線中  
外縁ヲ太クシ  
内線ヲ細クス

七五

號六十二第

第 號

蠶種冷蔵免許證

住所

氏名(名稱)

蠶絲業法第二十一條ニ依リ蠶種冷蔵業ヲ免許ス

年月日

道府縣 印

紙 縦六寸 横八寸

號七十三第

裏面 表面

蠶種行商者(生繭賣買者)之證

年月日

原紙 縦三寸 横二寸

第 號

住所

業種 氏名

生年月日

道府縣 印

七五







蠶絲業法施行手續

明治四十四年十二月二十九日  
千葉縣令第九一號

- 第一條 蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置、管轄區域ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二條 蠶絲業法施行規則第二條ノ免許願書ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ届書ハ毎年三月十五日迄ニ第二號樣式ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第四條 蠶絲業法施行規則第七條ノ届書ハ第三號樣式ニ依リ生繭取扱ノ場所ヲ豫定シ得ヘキモノニ在リテハ毎年四月三十日迄ニ又之ヲ豫定シ得ヘカラサルモノニ在リテハ生繭取扱開始五日前迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第五條 蠶絲業法施行規則第九條ノ許可願書ハ相續人及被相續人連署ノ

上戸籍謄本ヲ添付シテ之ヲ知事ニ差出スヘシ

被相續人死亡ノ場合ニ於テハ相續人前項ノ手續ヲナスヘシ

- 第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種ノ製造後毎ニ之ヲ行ヒ第四號樣式ニ依リ其ノ施行期日十五日前迄ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ
- 知事ハ前項ニ依リ届出タル施行期日ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

- 第七條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ掃立届ハ第五號樣式ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

- 第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ノ化性、名稱、製造者、製造場所又ハ其ノ原蠶種ヨリ産出シタル蠶兒ノ掃立時期、飼育場所ノ異ナルモノ毎ニ本假名ニ依ル記號ヲ付シ之ヲ前條ノ届書中ニ記載スヘシ

- 第九條 蠶絲業法施行規則第二十一條第一項ノ蠶兒讓渡許可申請書ハ第



六號様式ニ依ルヘシ

蠶兒讓渡證明書及蠶兒讓受證明書ハ第七號様式ニ依ル

第十條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第二十四條第一項但書ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載シタル文字ノ訂正増加又ハ抹消ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ蠶種ヲ當該官吏、吏員ニ差出シ又許可ヲ受ケムトスルトキハ第八號様式ノ臺紙記載事項變更許可願ニ其ノ蠶種ヲ添付シ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十一條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ上簇終リタルトキハ其ノ都度第九號様式ニ依リ上簇届ヲ遲滯ナク所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第十二條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇後一化性ニ在リテハ十日以内ニ二化性及多化性ニ在リテハ八日以内ニ繭ヲ撰別シ第十號様式ニ依リ收繭調書ニ通ヲ調製シ其ノ一通ヲ所轄蠶業取締所ニ差出シ他ノ一

通ヲ保管スヘシ

收繭後ノ検査前收繭調書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第十三條 特別蠶種ニ附スヘキ記號ハ其ノ蠶種ノ製造ニ供用シタル繭ニ對スル種繭證明書ノ記號ヲ用井母蛾及其ノ産卵區ニ附スヘキ符號ハ數字ヲ用ユヘシ

特別蠶種ノ母蛾ハ紙袋又ハ蠶業取締所ノ許可ヲ得タル容器ニ容レ其ノ蠶種ノ臺紙ト同一ノ記號、番號、化性、名稱及製造者ノ氏名若ハ名稱住所ヲ記載スヘシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十九條及第三十一條ニ依ル卵ノ顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知スヘシ

蠶種製造者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日迄ニ其ノ蠶種ヲ所



轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第十五條 不越年特別蠶種ノ卵ト出殻繭トノ對照検査ハ蠶種製造場所ニ於テ之ヲ行フ

第十六條 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依ル許可ヲ得ムトスル者ハ第十一號様式ニ依リ搬出許可願ヲ知事ニ差出スヘシ  
前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ第十二號様式ニ依リ搬出許可證ヲ交付ス

第十七條 蠶種製造者化性又ハ名稱ノ異ナル蠶蛾ヲ以テ掛合蠶種ヲ製造セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ  
前項ノ許可願書ハ第十三號様式ニ依ルヘシ

第十八條 蠶絲業法施行規則第四十一條第一項ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ化性又ハ名稱ヲ變更セムトスル者ハ其ノ蠶兒ノ第四眠以前ニ第

十四號様式ニ依リ蠶種化性又ハ名稱變更願ヲ知事ニ差出スヘシ  
前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ第十五號様式ノ許可ヲ交付ス

第十九條 蠶絲業法施行規則第四十三條第一項及第四十四條第一項ニ依リ種繭證明書ノ再下付又ハ書換下付ヲ請求セムトスルトキハ第十六號様式ニ依リ種繭證明書再下付又ハ書換下付請求書ヲ差出スヘシ

第二十條 蠶絲業法施行規則第四十五條第一項ニ依リ不越年蠶種ノ臺紙ニ證印ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ第十七號様式ノ不越年蠶種臺紙捺印請求書ニ臺紙及種繭證明書ヲ添付シ之ヲ差出スヘシ

第二十一條 蠶絲業法施行規則第四十六條第二項ニ依リ證印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ其ノ臺紙ノ數ヲ記載シタル請求書ニ證印ノ取消ヲ受クヘキ臺紙ヲ添へ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十二條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ニ依ル検査ヲ受ケムト



スルトキハ第十八號様式ノ不越年特別蠶種母蛾検査請求書ニ蠶種及母蛾ヲ添付シ之ヲ差出スヘシ

不越年蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ第十九號様式不越年蠶種産卵後検査請求書ヲ差出スヘシ

第二十三條 越年特別蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ毎年七月

三十一日迄ニ第十八號様式ノ越年特別蠶種母蛾検査請求書ニ蠶種及母

蛾ヲ添付シ越年蠶種ノ産卵後検査ヲ受ケムトスルトキハ第十九號様式

ニ依リ越年蠶種産卵後検査請求書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ但シ

八月一日以降ノ製造ニ係ル越年特別蠶種ノ母蛾検査請求書ハ其ノ都度

之ヲ差出スヘシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十四條及第五十五條第二項ニ依リ證

印ノ押捺ヲ請求セムトスルトキハ第二十號様式ニ依リ蠶種別變更請求

書ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十五條 蠶業取締所ニ於テ行フヘキ検査終了シタルトキハ其ノ旨ヲ

蠶種製造者ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滞ナク當該蠶業取締所ニ就

キ蠶種ノ返戻ヲ受ケヘシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十五條第四項ニ依リ合格證印ノ無効

ニ屬シタル蠶種ハ官報又ハ縣報ヲ以テ之ヲ公示ス

第二十七條 蠶種製造場所ニ於テ受クヘキ検査ニハ蠶種製造者又ハ其ノ

代理人之ニ立會フヘシ

第二十八條 蠶絲業法施行規則第七十五條ノ種繭審査請求書ハ第二十一

號様式ニ依リ收繭後ノ検査ヲ了リタル後遲滞ナク之ヲ知事ニ差出スヘ

シ



第二十九條 審査ヲ受ケムトスル種繭ヲ差出スヘキ場所及期日ハ之ヲ告示ス

前項ノ場所及期日ニ差出サ、ル者ハ審査ノ請求ヲ拋棄シタル者ト看做ス

第三十條 種繭ノ審査ヲ終リタルトキハ地方種繭審査會ハ之ヲ蠶種製造者ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ蠶種製造者ハ遲滯ナク種繭ヲ差出シタル場所ニ就キ種繭ノ返戻ヲ受クヘシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第八十一條ニ依リ原蠶種印ノ取消ヲ請求セムトスルトキハ第二十二號様式ノ原蠶種印取消請求書ニ原蠶種ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

第三十二條 蠶絲業法施行規則第九十一條ニ依リ鑑札ノ下付ヲ出願セム

トスル者ハ蠶種行商者ニ在リテハ毎年五月三十日迄ニ生繭賣買者ニ在リテハ毎年四月三十日迄ニ第二十三號様式ニ依リ鑑札下付願ヲ知事ニ差出スヘシ

出願ノ際現ニ鑑札ヲ有スルトキハ之ヲ前項ノ願書ニ添付スヘシ  
蠶種行商者又ハ生繭賣買者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ業務ヲ廢止シタルトキハ本人ヨリ所轄蠶業取締所ニ返納スヘシ但シ從業者ノ鑑札不用ニ歸シタルトキハ雇主ヨリ之ヲ返納スヘシ

第三十三條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者ニシテ死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ、業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ本人ヨリ遲滯ナク免許證ヲ返納スヘシ

蠶種製造者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼シタルトキハ免許證ノ書換ヲ請求スヘシ



第三十四條 免許證又ハ鑑札ヲ毀損シ若ハ亡失シタルトキハ所轄蠶業取締所ニ其ノ再下付ヲ請求スヘシ但シ其ノ毀損シタル場合ニハ其ノ免許證又ハ鑑札ヘ之ヲ返納スヘシ

第三十五條 蠶業取締官吏、吏員ノ官職印及蠶業取締所及支所印ハ第二十四號様式ニ依ル

第三十六條 毎年八月以降ニ於テ生繭ノ取扱ヲナス者ハ蠶絲業法施行規則第七條第十四條及第十五條ノ規定ヲ適用セス

第三十七條 第六條、第十一條、第十二條、第十四條第二項、第十七條

第一項、第二十七條、第三十二條第三項又ハ第三十三條第一項ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十八條 本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄蠶業取締所ヲ經由スヘシ

附 則

第三十九條 本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年本縣令第三十一號蠶病豫防法施行手續ハ之ヲ廢止ス

様 式  
第一號

蠶種製造免許願

住 所

氏 名 (名稱)

生 年 月 日

蠶種製造場所	(郡町村字番地)		(郡町村字番地)
右 管 理 者	(何 某)		(何 某)
蠶兒飼育場所	(郡町村字番地)		



製造額概定數	掃立蟻量概定數	購入契約桑葉量	右收葉量	桑園反別	蠶具ノ種類及數	蠶室ノ數及面積	右擔當者
(何蛾枚)	(何匁)	(何貫)	(何貫)	(何反歩)	(何外何件)	(何室何坪)	(何某)

右免許相成度候也

年 月 日

右

氏 名 (名稱) 印

知 事 宛

備 考

- 一 蠶種製造者又ハ管理者ノ履歷書、蠶絲業法施行規則第三條第一項第三號ニ關スル證明書及法人ニアリテハ定款ヲ添付シ尙蠶具ノ調書ヲ添付スヘシ
- 二 蠶種製造場所所在地ト蠶種製造用造兒ノ飼育場所所在地トカ之ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル場合ニハ關係地方長官連名宛トスヘシ
- 三 桑園及蠶室ノ所在地並其ノ土地臺帳ニ依ル番號ヲ記シタル書面ヲ添付スヘシ
- 四 桑葉ノ購入ノ契約ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ相手方ノ氏名若ハ名稱及住所ヲ記シタル書面ヲ添付スヘシ



第二號

蠶種製造届

免許證第

號

蠶種製造場所

水二

場蠶兒飼育所	化性	化期	年越年不越ノ別	名稱	月掃立豫定日	日掃立豫定日	蠶數	立豫定特別蠶種製造豫定額	普通蠶種製造豫定額

年月日 知事宛 住所 業種氏名(名稱)印

備考

蠶種製造場所數箇所アルトキハ前表ヲ其ノ場所毎ニ作成スヘシ

第三號

生繭取扱届

取扱場所	取扱豫定期月日	取扱豫定數量	管理者氏名

年月日 住所 業種氏名(名稱)印

九三



知事宛

第四號

消毒届

器具				室		種目數	施行月日	施行ノ場所
何	網	筵	籠	全	何			
々					號			

年月日

住所

業種氏名

(名稱)印

知事宛

第五號

掃立届

蠶兒飼育場	所	化性	化期	名稱	原蠶種製原蠶種製	掃立	掃立	掃立	記	號
					造者氏名造場所	蛾	蟻	月	日	

住所



年月日 知事宛 業種氏名 (名稱) 印

九六

第六號

蠶兒讓渡許可申請書

記號	掃立蠶量	掃立月日	蠶齡	讓渡サムトスル蠶兒ノ數量	同上掃殺ノ數量

右何々事由ニ依リ郡町村字番地何某へ讓渡致度候間許可相成度候也

年 月 日 住所 讓渡人業種 氏名 (名稱) 印

住所 讓受人業種 氏名 (名稱) 印  
何蠶業取締所管下

蠶業取締所 御中

第七號

蠶兒讓渡(讓受)證明書

住所 業種 氏名 (名稱)

- 一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所
- 二 化性、化期及名稱
- 三 掃立月日及記號



四 掃立蛾數、掃立蟻量及蠶齡（蠶兒ノ頭數、推算蟻量及蠶齡）右ノ内  
蠶兒何頭此ノ推算蟻量何及之ニ對スル掃殼ヲ郡町村字番地何某ニ  
讓渡ス（右蠶兒及之ニ對スル掃殼ハ郡町村字番地何某ヨリ讓受ク）

右證明ス

年 月 日

蠶業取締所 印

備考

全部讓渡ノ場合ニ於テハ本様式中右以下ノ文字ヲ適宜變更記載ス

第八號

臺紙記載事項變更許可願

特別蠶種	項目	變更ノ文字	蠶種ノ枚數

普通蠶種

右何々事由ニ依リ變更致度候間許可相成度候也

住所

業種 氏名（名稱）印

年 月 日 知事宛

第九號

上 簇 届

蠶兒飼育場所	記 號	上 簇 月 日	種繭撰別豫定月日



年 月 日

住 所

業 種 氏

名 (名稱) ④

蠶業取締所 御中

第十號

收繭調書

記	掃立蛾數	掃立蟻量	對蟻量一夕收繭柵量	收繭總柵量

種繭柵量	撰除繭柵量	同功繭柵量	繭層片薄不整繭等柵量	上簇月日	發蛾豫定月日	特別蠶種製造豫定額	普通蠶種製造豫定額

右ノ通相違無之候也

住 所

年 月 日

業 種

氏

名

(名稱) ④



蠶業取締所 御中

備考

蠶絲業法施行規則第三十七條但書ニ依リ搬出ノ許可ヲ受ケタル繭アル  
トキハ其ノ枳量ヲ各項目欄ノ一側ニ朱記スヘシ

第十一號

搬出許可願

品名	(記號)	數	量	搬出先

右何々事由ニ依リ搬出致度候間許可相成度候也

住所

年月日

知事宛

業種氏名 (名稱) 印

備考

一 時限リノ搬出ニシテ再々現場ニ搬入スヘキモノハ其ノ搬出期間ヲ記  
入スヘシ

第十二號

搬出許可證

住所

業種氏名 (名稱)

- 一 掃殻、繭又ハ出殻繭
- 二 數 量



三 搬出先

四 搬出ノ期間アルトキハ其ノ期間  
右搬出ヲ許可ス

年 月 日

蠶業取締所 印

備考

繭又ハ出殻繭ニ在テリハ其ノ記號ヲ記載スヘシ

第十三號

掛合蠶種製造許可願

雌 蛾

- 一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所
- 二 化性化期及名稱

三 掃立月日及記號

四 發蛾豫定月日

五 豫定蛾數及種繭量

雄 蛾

一ヨリ五ニ至ル前ニ同シ

右掛合セ度候間許可相成度候也

住 所

年 月 日

蠶種 氏 名 (名稱) 印

知 事 宛

第十四號

蠶種化性(名稱)變更願



- 一 原蠶種製造者及原蠶種製造場所
  - 二 化性化期及名稱
  - 三 掃立月日及記號
  - 四 掃立蛾數及掃立蟻量
  - 五 新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
  - 六 理由
- 右變更致度候間許可相成度候也

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

知事宛

第十五號

蠶種化性(名稱)變更許可書

住所

業種氏名(名稱)

- 一 化性化期及名稱
  - 二 掃立月日及記號
  - 三 掃立蛾數及蟻量
  - 四 新ニ付セムトスル化性第何化性(名稱何々)
- 右變更ヲ許可ス

蠶業取締所 印

年月日

第十六號

種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)請求書



- 一 化性化期及名稱
  - 二 記 號
  - 三 種繭樹量
  - 四 一升ノ顆數
  - 五 發蛾歩合
- 右何々事由ニ依リ種繭證明書再下付(又ハ書換、下付)相成度候也

住 所

年 月 日

業 種 氏 名 (名稱) 印

蠶業取締所 御中

備 考

- 一 書換ヲ請求セムトスル場合ニハ單ニ記號及種繭證明書ノ番號ノミヲ記載スルヲ以テ足ル

二 書換及下付ノ場合ニ於テハ讓渡スヘキ又ハ讓受クヘキ種繭ノ樹量ヲ記載シ尙讓受人蠶種製造者ナルトキハ讓渡人及讓受人連署シテ請求スルコトヲ要ス

第十七號

不越年蠶種臺紙捺印請求書

種繭證明書記號番號	記 號 番 號	蠶 種 製 造 額	發蛾豫定月日
	特 別 蠶 種 一 普 通 蠶 種		

住 所

年 月 日

業 種 氏 名 (名稱) 印



蠶業取締所 御中

第十八號

不越年特別蠶種母蛾檢查(越年特別蠶種母蛾檢查)請求書

化性	化期	名稱	種繭證明書記號番號		特別蠶種	普通蠶種	出殼量	殘餘蠶紙數
			記號番號	號				

右特別蠶種及母蛾相添へ及請求候也

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

蠶業取締所 御中

第十九號

不越年蠶種產卵後檢查(越年蠶種產卵後檢查)請求書

化性	化期	名稱	種繭證明書記號番號		特別蠶種	普通蠶種	出殼量	殘餘蠶紙數
			記號番號	號				

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

蠶業取締所 御中



第二十號

蠶種別變更請求書

化性化期名稱記號	特別蠶種製造額		變更セムトスル特別蠶種	
	蛾數一枚數	蛾數一枚數	蛾數一枚數	蛾數一枚數

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

蠶業取締所 御中

第二十一號

種繭審查請求書

化性化期名稱	種繭證明書 ノ記號番號	種繭樹量	發蛾豫定月日

住所

年月日

業種氏名

(名稱)印

知事宛

第二十二號

原蠶種印取消請求書



性	化	期	名	稱	取消請求枚數

年 月 日

住 所

業 種 氏 名 (名稱) 印

蠶業取締所 御中

第二十三號

鑑札下付願

蠶種行商(生繭賣買)ヲナサムトスル地域	鑑札ヲ携帯スヘキ者ノ氏名生年月日

右相願候也

住 所

年 月 日

業 種 氏 名 (名稱) 印

知 事 宛

第二十四號

千葉縣技師  
(技 手)  
何 某 印

技師ハ方七分  
技手ハ方六分  
肉 色 朱

千葉縣蠶業  
取締吏員  
何 某 印

方六分  
肉色朱

千葉縣蠶業  
取 締 所  
(支所) 印

方八分  
肉色朱



# 千葉縣告示

明治四十四年十二月二十九日  
第四五二二號

蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置、管轄區域左ノ通定ム

名稱	位置	管轄區域
千葉縣蠶業取締所	千葉郡千葉町	安房郡一圓 夷隅郡一圓 君津郡一圓 長生郡一圓 市原郡一圓 千葉郡一圓 東葛飾郡一圓 印旛郡一圓 山武郡ノ内 東金町 公平村 源村 丘山村 大和 村 土氣本郷町 瑞穂村 大網町 山邊村 増穂 村 福岡村 白里村 豊海村 片貝村 正氣村 日向村 睦岡村 香取郡ノ内 滑川町 小御門村 高岡村 神崎町 米澤村 瑞穂村 新島村 佐原町 東大戸村 大 須賀村 本大須賀村 香西村 香取町 津宮村 大 倉村 豊浦村
	匝瑳郡一圓	海上郡一圓

千葉縣蠶業取締所	福岡支所
匝瑳郡福岡町	香取郡ノ内 小見川町 神里村 八都村 栗源村 長文村 府馬村 山倉村 常盤村 久賀村 多古 町 日吉村 東條村 吉田村 中村 飯高村 豊 和村 古城村 中和村 萬歳村 神代村 笹川町 橋村 東城村 豊里村 森山村 山武郡ノ内 豊成村 鳴濱村 成東町 大富村 南 郷村 綠海村 蓮沼村 上堺村 大平村 松尾町 豊岡村 横芝町 二川村 大總村 千代田村

## 蠶絲業法施行事務取扱規程

明治四十四年十二月十六日  
農商務省訓令第十九號

第一條 蠶業取締所ニハ様式第一號ニ準シ蠶種製造者臺帳、様式第二號

ニ準シ蠶種冷蔵業者臺帳、様式第三號ニ準シ生繭取扱者臺帳、様式第

四號ニ準シ検査臺帳、様式第五號ニ準シ鑑札下付臺帳ヲ備ヘ置クヘ

シ



種繭審査會ヲ設ケ種繭ノ審査ヲ爲ス道府縣ニ在リテハ様式第六號ニ準シ原蠶種製造臺帳ヲ備ヘ置クヘシ

第二條 當該官吏吏員ハ蠶種製造者カ蠶室蠶具ノ消毒ヲ施行スルトキ、蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキ、蠶兒ノ五齡期ニ達シタルトキ又ハ種繭ヨリ蛾ノ發出シタルトキ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所又ハ蠶種製造場所ヲ臨檢シ生繭取扱者カ生繭ノ取扱ニ從事スルトキ其ノ取扱場所ヲ臨檢スヘシ

當該官吏吏員必要ト認ムルトキハ養蠶者カ蠶兒ヲ飼育スル場所ニ臨檢スヘシ

第三條 當該官吏吏員臨檢及検査ヲ爲シタルトキハ蠶業取締所ヨリ交付セラレタル手簿ニ其ノ要領ヲ記入シ所長又ハ主事ノ閱覽ヲ受クヘシ

第四條 當該官吏吏員床下ニ蠶蛆若ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルコトヲ認メタ

ルトキハ床下掃除ヲ命シ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲サシムヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防クニ足ル完全ナル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 蠶絲業法施行規則第二十一條第三項及第四十四條第三項ニ依ル通知書ニハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ附記スヘシ

同一蠶種製造者ノ蠶兒又ハ種繭カ他ノ蠶業取締所ノ管轄内ニ移動シタルトキハ其ノ以前ニ於ケル經過ヲ遲滞ナク通知スヘシ

第六條 繭量定ノ方法ハ柝ノ椽ヨリ量ラムトスル繭ノ短徑ノ半ハニ相當セル高サニ繭ヲ納ムルヲ標準トスヘシ

一升ノ顆數ヲ定ムル方法ハ三升ノ繭ニ付其ノ顆數ヲ計算シテ之ヲ三分スヘシ

發蛾歩合ヲ定ムル方法ハ種繭百顆ヲ切開シ健全ナル蛹ノ數ヲ算シ之ヲ



定ムヘシ

種繭ヲ以テ蠶種製造豫定額ヲ定ムル方法ハ特別蠶種ニ在リテハ發蛾歩合ニ依リ一升ノ發蛾豫定數ヲ算シ其ノ半數ヲ種繭樹量ニ乘シ之ヲ定メ普通蠶種ニ在リテハ總發蛾豫定數ノ半數ヲ蠶種一枚ノ產卵蛾數ニテ除シ之ヲ定ムヘシ

出殻繭ヲ以テ蠶種製造額ヲ定ムル方法ハ特別蠶種ニ在リテハ三升ニ付平均一升ノ發蛾數ヲ檢シ其ノ半數ヲ出殻繭總樹量ニ乘シ之ヲ定メ普通蠶種ニ在リテハ總發蛾數ノ半數ヲ蠶種一枚ノ產卵蛾數ニテ除シ之ヲ定ムヘシ

第七條 蠶種製造者カ蠶兒ニ付シタル平假名ノ記號ヲ以テ其ノ蠶兒ヨリ產出シタル種繭ノ種繭證明書ニ記載スヘキ記號トスヘシ

第八條 蠶絲業法施行規則第三十條第一項ノ検査ヲ爲サムトスルトキハ

蠶種一枚ニ付其ノ全面ヨリ百粒以上ノ卵ヲ取り之ヲ十等分シ能ク磨潰シ其ノ各液ヲ以テ一鏡面ニ供用スヘシ

蠶絲業法施行規則第三十條第二項ノ検査ヲ爲サムトスルトキハ無毒ト認メラレタル區ヨリ十粒以上ノ卵ヲ取り能ク磨潰シ其ノ液ヲ以テ一鏡面ニ供用スヘシ

第九條 母蛾ノ検査ヲ爲サムトスルトキハ母蛾ヲ番號ヲ付シタル乳鉢ニ入レ能ク磨潰シ一母蛾ノ液ヲ以テ一鏡面ニ供用スヘシ  
卵又ハ母蛾ヲ磨潰セムトスルトキハ之ニ苛性加里稀薄液又ハ蒸餾水少許ヲ加フヘシ

第十條 顯微鏡検査ニ於テ無毒ト決定セシムスルトキハ每鏡面ニ付五視野以上ヲ檢視スヘシ

第十一條 蠶業取締所ニ於ケル蠶種又ハ母蛾ノ貯藏、處理、取扱場所及



顯微鏡使用ニ供スル場所ハ時々消毒ヲ行ヒ検査用具ヲ洗滌シタル汚水  
 ハ之ニ消毒藥品ヲ投シ且ツ濫リニ他ニ放流スヘカラス  
 第十二條 當該官吏吏員ハ蠶絲業法施行規則第六十五條第一項第二項、  
 第六十七條又ハ第六十八條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ付キ臨檢シ蠶  
 絲業法及同法ニ基キテ發スル命令ニ違反セサルヤ否ヤヲ檢シ違反セサ  
 ル場合ニ於テハ相當ノ所置ヲ爲スヘシ  
 第十三條 普通蠶種検査合格證印、特別用印又ハ特別蠶種検査合格證印  
 ヲ押捺シタルトキハ其ノ印ノ下ニ當該官吏吏員ノ職印ヲ押捺スヘシ

樣式  
 第一號

蠶種製造者臺帳

免許指令番號		免許年月日	
氏名若ハ名稱		蠶種製造者住所	
蠶室	數一面積	桑園ノ段別 又ハ桑葉量	掃立蟻量 概定數
			蠶種製造 額概定數
			蠶具ノ種 類及數
			摘 要
蠶種製造場所	蠶種製造場所以外 ノ蠶兒飼育場所	管理者氏名	住 所
			蠶種製造者及管 理者履歷ノ要領



第二號

蠶種冷蔵業者臺帳

冷蔵装置ノ種別		冷蔵シ得ヘキ場所	冷蔵豫定期日	前期ノ冷蔵期間ニ於ケル温度及湿度
容量ノ數量	積	所在地	始期終期	温度湿度

第三號

生繭取扱者臺帳

業種		氏名		住所	
生繭取扱場所	取扱豫定期日	開所	閉所	生繭取扱豫定數量	管理者氏名
	月 日	月 日	月 日		

要 摘











二條 蠶絲業法施行規則第十二條ニ依ル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其

死體死籠繭又ハ薄皮繭ノ處理方法左ノ如シ

一 「フォルユリン」ヲ用井ル場合ニアリテハ其ノ稀釋液（百分中蟻酸

「アルヂヒード」一分以上ヲ含有シ液温華氏七十五度以上ノモノ）

ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二 石灰水ヲ用井ル場合ニ在リテハ生石灰一分ニ水九分以内ヲ加ヘタ

ルモノニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スヘシ

三 熱湯ヲ用井ル場合ニ在リテハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ若ハ五分

間以上煮沸ヲ繼續スヘシ

四 乾燥ヲ行フ場合ニアリテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ

用井生繭百匁ヲ四十匁以内ニ至ラシムヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第十三條ノ蠶病ノ蔓延ノ虞アル場合トハ病勢

猖獗ニシテ蠶兒ノ過半病蠶トナリタル場合ヲ謂フ

第四條 蠶絲業法施行規則第十四條第二項ノ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防ク

ニ足ルヘキ容器トハ密閉シ得ヘキモノ又ハ密閉セサル箱、罐等ニシテ

深サ二寸以上ヲ有スルモノヲ謂フ但シ密閉セサル容器ノ縁ニ繭ノ接觸

スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保タシヘシ

蠶絲業法施行規則第十四條第四項ノ塵芥ノ處理方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ

容器ニ滿タシタル水液中ニ百二十時間以上浸漬スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第十八條ニ依ル蛾ノ乾燥ハ華氏百六十度以上

ノ火熱又ハ蒸氣熱ニ三時間以上之ヲ接觸セシムヘシ、蛾ヲ熱湯「フオ

ルマリソ」若ハ石灰水中ニ投入セムトスルトキハ第二條第一號乃至第

三號ニ準スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第十九條ニ依ル蠶室蠶具ノ消毒方法左ノ如シ



## (一) 「フオルマリン」撒布消毒法

一 蠶室ヲ消毒スルニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲其ノ周圍ヲ密閉シ消毒中華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保タシムヘシ蠶室ノ内面百平方尺ニ對シ「フオルマリン」稀釋液（百分中蟻酸「アルデヒド」一分以上ヲ含有スルモノ）四百二十錠（二合三勺一才）ヲ撒布スヘシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ室内溫度ヲ七十五度ニ達セシメ難キ場合ニ於テハ「フオルマリン」撒布ノ量ヲ適宜増量スヘシ

「フオルマリン」ヲ撒布スルニハ噴霧器ヲ用ヒ天井ヨリ周圍ニ及ホシ最後床板ニ至リ撒布後尙十五時間以上之ヲ密閉スルヲ要ス

二 蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行フ

ヘシ「フオルマリン」稀釋液（百分中蟻酸「アルデヒド」一分以上ヲ含有スルモノ）ヲ蠶具ニ撒布スルニハ蠶網蠶蔴及蠶箔ノ類ニ在リテハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ニ在リテハ一個毎ニ表裏全面ノ潤フ程度ニ之ヲ撒布シ順次堆積シテ相當ノ高サニ至ラハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲菰、蔴等ヲ以テ周圍ヲ覆ヒ十五時間以上之ヲ放置スヘシ

## (二) 蒸汽消毒法

桶箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸汽ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尙三十分間以上同溫度ヲ保タシムヘシ

## (三) 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒法

蠶具ノ消毒ハ完全ニ密閉シ得ヘキ華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保テル室内ニ於テ之ヲ行フヘシ



蠶具ヲ配置スルニハ間隔ヲ保タシムヘシ但シ蠶筵ニ在リテハ皆川  
 筵四枚ヲ以テ限度トシ堆積スルコトヲ得厚筵一枚又ハ蠶絹五枚ハ  
 皆川筵二枚ニ相當スルモノト看做ス消毒室ノ内面千立方尺ニ對シ  
 「フオルマリン」蒸發器又ハ其ノ他ノ器具ヲ以テ蟻酸「アルデヒ  
 ド」瓦斯ヲ左ノ割合ニ依テ發散セシメ發散後尙六時間以上之ヲ密  
 閉スヘシ

蠶箔及蠶筵(皆川筵)蟻酸「アルデヒード」瓦斯量

- 百枚以下 一一五<sup>瓦</sup>
- 二百枚以下 一三〇
- 三百枚以下 一四五
- 四百枚以下 一六〇
- 五百枚以下 一八〇

- 六百枚以下 一九〇
- 七百枚以下 二〇〇
- 八百枚以下 二二〇

蠶業取締所規定

明治四十四年十月十六日  
 農商務省令第三一號

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ  
 依ル

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必  
 要アル時期ニ限り其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

第三條 蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉日ハ地方長官之ヲ定ム  
 第三條 蠶業取締ニ所長支所ニ主事ヲ置ク所長ハ技師又ハ技手ヲ以テ之  
 ニ充ツ但シ農業技師ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ妨ケス



所長ハ地方長官ノ命ヲ承ク所務ヲ掌理シ主事ハ所長ノ指揮ヲ承ク事務ヲ分掌ス

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規定ヲ定メ之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所、支所又ハ出張所ノ位置、管轄區域開閉月日、所長又ハ主事ノ命免ヲ公示シ農商務大臣ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ蠶業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

種繭審査會規則

明治四十四年十一月二十一日  
勅令 第二七六號

第一條 蠶絲業法第二十三條ノ規定ニ依ル種繭審査會ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 種繭審査會ハ中央種繭審査會及地方種繭審査會トス

第三條 中央種繭審査會ハ農商務大臣ノ監督ニ屬シ原蠶種ノ撰定ニ關スル事項ヲ審議シ及之ニ關スル調査ヲ行フ

地方種繭審査會ハ地方長官ノ監監ニ屬シ原蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭ノ審査ヲ行ヒ及原蠶種ノ選定ニ關スル事項ヲ審議ス

第四條 中央種繭審査會ハ委員二十一人以内ヲ以テ之ヲ組織ス  
地方種繭審査會ノ委員ノ定數ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ定ム

第五條 委員ハ官吏公吏及蠶絲業ニ關スル學識經驗アル者ノ中ヨリ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣地方、種繭審査會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス

第六條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏ニシテ委員タル者ヲ除クノ外三年ト



ス

一三八

第七條 種繭審査會ニ會長及副會長ヲ置キ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣地方種繭審査會ニ在リテハ地方長官其ノ委員中ヨリ之ヲ命ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル副會長ハ會長ヲ輔ク會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第九條 種繭審査會ニ幹事及書記ヲ置キ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣、地方種繭審査會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス

幹事ハ一人トス官吏又ハ公吏ノ中ヨリ之ヲ命ス

第十條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ク庶務ヲ整理ス書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ク庶務ニ従事ス

第十一條 地方種繭審査會ニ於テハ審査ニ關スル事務ヲ補助セシムル爲メ補助員ヲ置クコトヲ得

補助員ハ地方長官毎年之ヲ命ス

第十二條 種繭審査會ニ於ケル原蠶種ノ撰定ニ關スル會議ハ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣、地方種繭審査會ニ在リテハ地方長官ノ提出シタル議案ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十三條 地方種繭審査會ノ議ニ付スヘキ事項ニ付二以上ノ道府縣ニ涉リ協定ヲ爲スノ必要アルトキハ關係道府縣地方種繭審査會ハ聯合シテ開會スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ決議ヲ以テ各地方種繭審査會ノ決議ト看做ス

第十四條 聯合會議ノ會議方法ハ關係地方長官ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 地方種繭審査會ニ於ケル種繭ノ審査ハ三人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ行フ

種繭審査ヲ行フ場所及期日ハ地方長官審査ノ日ヨリ少クトモ十日以前

一三九



ニ之ヲ告示スヘシ

第十五條 委員ハ自己、配遇者、四親等内ノ親族戸主又ハ家族ノ請求シタル種繭ノ審査ニ參與スルコトヲ得ス委員種繭ノ審査ヲ請求シタル者ノ法定代理人タルトキハ亦同シ

第十六條 中央種繭審査會ノ會議ハ農商務大臣、地方種繭審査會ノ會議ハ地方長官之ヲ召集ス

第十七條 種繭審査會ノ會議ハ委員定數ノ二分ノ一以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第十八條 種繭審査會ノ會議ノ議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十九條 會長ハ閉會後遲滯ナク會議ノ顛末及決議ノ要領ヲ中央種繭審査會ニ在リテハ農商務大臣ニ地方種繭審査會ニ在リテハ地方長官ニ報

告スヘシ

地方種繭審査會ノ會長ハ種繭ノ審査成績ヲ地方長官ノ指定スル期日毎ニ報告スヘシ

第二十條 地方種繭審査會ノ決議又ハ審査其權限ヲ越エ若ハ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ決議又ハ審査ヲ取消スコトヲ得

第二十一條 地方長官ハ地方種繭審査會ノ種繭審査ニ關スル規則ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 地方長官ハ地方種繭審査會ノ決議又ハ審査ノ要領及第二十条ノ規定ニ依リ決議又ハ審査ノ取消ヲナシタルトキハ其ノ顛末ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

附 則



本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令 明治四十四年十一月二十日  
第二百七十五號

蠶絲業法ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

勅令 明治四十四年七月二十八日  
第二百四十四號

第一條 蠶絲業法ニ依リ蠶種検査ニ關シ徵收スヘキ手数料ハ特別蠶種ニ  
アリテハ一枚ニ付三錢其ノ他ノ蠶種ニアリテハ一枚ニ付二錢トス

第二條 手数料ハ特別蠶種ニアリテハ其ノ母蛾ノ検査ヲ其ノ他ノ蠶種ニ  
アリテハ其ノ産卵後ノ検査ヲ行井タル府、縣又ハ北海道地方費ニ於テ  
徵收スヘシ

附則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ施行ス

蠶絲業法關係法令

- 一 重要物産同業組合法
- 二 同施行規則
- 三 間接國稅犯則者處分法
- 四 同施行規則(拔萃)
- 五 法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタルトキ處罰制

重要物産同業組合法 明治三十三年三月六日  
法律第三十五號

第一條 重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者  
又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置ス  
ルコトヲ得



重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル  
 第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益  
 ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ  
 同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務  
 大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムト  
 スルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ  
 組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入  
 ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲同業組合  
 聯合會ヲ設置スルコトヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議  
 定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス

同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ  
 從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

- 一 組 長 一 名
- 一 副 組 長 若干名
- 一 評 議 員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得  
 役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會



ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第九條 組長ハ其ノ同業組合及同業組合聯合會ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任ス

副組長ハ組長ノ事務ヲ補佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ

設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徴シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並徵收法ハ其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

經費ノ決算及業務成績ハ每年少クトモ一回組合員ニ公示シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 同業組合及同業組合聯合會ハ農商務大臣又ハ地方長官ノ命シタル官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス又其ノ質問ニ對シ確實ニ答辯スヘキモノトス

第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得



農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農商務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止
- 二 役員ノ解職
- 三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若ハ同業組合聯合會解散ヲ爲サントスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其ノ事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條第十三條ノ規定ニ違背シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス  
前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第百六條乃至第百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若ハ検査證ヲ營業品ニ偽リテ附シタル者又ハ偽造變造ノ證票若ハ検査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ十五日以上六月以下ノ懲役又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則



第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ

本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メ

タル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同

業組合法中ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當ス

ル本法ノ規定ヲ準用ス

### 重要物産同業組合法施行規則

明治三十三年三月三十一日  
農商務省令第七號

第一條 重要物産同業組合法ニ依リ設置スル組合又ハ聯合會ノ名稱ニ於

同業組合又ハ同業組合聯合會ナル文字ヲ附スヘシ

第二條 組合ノ地區ハ郡市以上ノ區域ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情アルト

キハ此限ニ在ラス

第三條 組合ヲ設置セントスルトキハ五名以上ノ營業者ニ於テ其組合ノ

地區及營業ノ種類ヲ定メ發起ノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ

第四條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ組合員タルヘキ者ニ左ノ事

項ヲ通知シ組合設置ノ同意ヲ求ムヘシ

一 組合ノ地區及營業ノ種類

二 組合員タルヘキ者ノ數但シ各種營業毎ニ之ヲ區別スヘシ

三 組合ノ目的及業務ノ概目

四 創立費及經費ノ概算

五 同意表示ノ形式及期間



第五條 法定ノ同意アリタルトキハ發起人ハ定款ヲ作り遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ

創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的、日時及場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ  
前項ノ通知ニハ定款ヲ添附スヘシ

第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス但二種以上ノ營業者組合員タルヘキ場合ニ於テハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第七條 創立總會ニ於テハ組合員タルヘキ者ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ他ノ組合員タルヘキ者ニ委任シテ其表決權ヲ行フコトヲ得

第八條 創立總會ヲ終ハリタルトキハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類、定款及創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ組合設置ノ

認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第九條 創立總會ニ於テハ其議定シタル定款ノ規定ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ議定スルコトヲ得

第十條 發起人發起ノ認可アリタル後六箇月内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第十一條 聯合會ノ創立總會ハ其聯合會ヲ組織セントスル組合ニ於テ選定シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十二條 聯合會ノ創立總會ヲ終ハリタルトキハ聯合會ヲ組織スル組合ヨリ聯合會設立ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ  
前項ノ認可申請書ニハ定款ヲ添付スヘシ

第十三條 組合又ハ聯合會ノ創立費及其償却ノ方法ハ創立總會ノ承認ヲ



第十四條 農商務大臣組合又ハ聯合會ノ設置ヲ命シタルトキハ地方長官  
ハ創立委員ヲ選定シ且其氏名ヲ公告スヘシ

創立委員ハ定款ヲ作り農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 組合又ハ聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 目的及業務

二 名稱及事務所ノ位置

三 組合ノ地區營業ノ種類但シ聯合會ニ在リテハ之ヲ組織スル組合ノ  
名稱

四 加入及脱退ニ關スル規定

五 組合員又ハ聯合會ヲ組織スル組合ノ權利義務

六 役員ノ資格權限及其選任並ニ解任ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

九 違約者ノ處分ニ關スル規定

十 定款ノ變更ニ關スル規定

十一 解散ニ關スル規定

十二 營業品ノ検査又ハ仲裁判斷若ハ調停ヲ爲サントスルトキハ之ニ  
關スル規定

第十六條 定款變更ノ認可申請書ニハ其ノ變更ノ理由ヲ記載シタル書面  
ヲ添付スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會ニ於テ定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規則ヲ設  
ケタルトキハ其都度農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十八條 組合又ハ聯合會ノ役員ノ認可申請書ニハ其履歷書ヲ添付スヘ



第十九條 組合又ハ聯合會ノ經費ノ豫算並ニ徵收法ノ認可申請書ハ創立ノ場合ヲ除ク外毎會計年度二箇月前ニ差出スヘシ經費ノ決算及業務成績ハ毎會計年度後三箇月内ニ報告スヘシ

第二十條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補缺選舉ノ手續ヲ行フヘキ者アラサルトキハ地方長官ハ組合員ヲ指定シテ其手續ヲ行ハシム

第二十一條 組合又ハ聯合會解散シタルトキハ組長及副組長ヲ以テ其精算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

精算人ハ其氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ  
第二十二條 前條ノ規定ニ依リテ精算人タル者アラサルトキハ地方長官之ヲ選任ス

第二十三條 精算人其任ニ適セス又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ地

方長官ハ精算人ヲ解任スルコトヲ得

第二十四條 精算カ結了シタルトキハ精算人其結果ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ  
附 則

第二十六條 本則施行前ニ重要輸出品同業組合法施行細則ニ依リテ爲シタル組合設置ノ手續ハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト見做ス

### 間接國稅犯則者處分法

明治三十三年三月十七日  
法律第六十七號

第一條 間接國稅ニ關スル犯則アルトキハ收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明ス

ヘキ物件、帳簿、書類等ノ差押ヲ爲スコトヲ得  
第二條 收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ藏匿ス



ト認ムル場所ニ臨檢シ搜索ヲ爲スコトヲ得

第三條 收稅官吏ハ犯則事件ヲ調査スル爲必要ト認ムルトキハ犯則嫌疑者、參考人ヲ尋問スルコトヲ得

第四條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲ストキハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第五條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スニ當リ必要ナルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第六條 收稅官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ家宅、倉庫、船車其ノ他ノ場所ノ所有主、借主、管理者、事務員又ハ同居ノ親族、雇人、隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ヲシテ立會ハシムヘシ  
前項ニ掲クル者其ノ地ニ在ラサルトキ又ハ立會ヲ拒ミタルトキハ其ノ地ノ警察官吏又ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ

第七條 收稅官吏犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ差押タルトキハ其ノ差押目錄ヲ作ルヘシ但シ所有者又ハ所持者ハ其ノ差押目錄ノ謄本ヲ請求スルコトヲ得

差押物件ハ便宜ニ依リ保管證ヲ徴シ所有者、所持者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルコトヲ得差押物件ノ保管證ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

差押物件腐敗其ノ損傷ノ虞アルトキハ稅務署長ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ代金ヲ供託スルコトヲ得

第八條 收稅官吏ハ日沒ヨリ日出マテノ間臨檢搜索又ハ差押ヲ爲スコトヲ得ス但シ現行犯ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
日沒前ヨリ開始シタル臨檢、搜索又ハ差押ニシテ必要アル場合ハ日沒後迄之ヲ繼續スルコトヲ得



第九條 收稅官吏臨檢、搜索尋問又ハ差押ヲ爲ス間ハ何人ニ限ラス許可ヲ得スシテ其ノ場所ニ出入スルヲ禁スルコトヲ得

第十條 收稅官吏臨檢、搜索又ハ差押ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ記載シ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者ニ示シ共ニ署名捺印スヘシ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第十一條 犯則事件ノ證憑集取ハ事件發見地ヲ所轄スル稅務監督局又ハ稅務署ノ收稅官吏之ヲ爲ス

稅務監督局收稅官吏ノ集取シタル證憑ハ之ヲ所轄稅務署收稅官吏ニ引繼クヘシ

同一犯則事件ニ付數箇所ニ於テ發見セラレタル時ハ各發見地ニ於テ集取セラレタル證憑ハ之ヲ最初ノ發見地所轄稅務署ノ收稅官吏ニ引繼ク

ヘシ

第十二條收 稅官吏前各條ニ依リ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スハ其ノ所屬稅務監督局又ハ所屬稅務署ノ管轄區域内ニ限ル但シ既ニ著手シタル犯則事件ニ關聯シ他ノ稅務監督局又ハ稅務署ノ管轄區域ニ於テ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スヲ必要トスルトキハ此ノ限ニ在ラス稅務署長ハ其ノ管轄區域外ニ於テ犯則事件ノ調査ヲ必要トスルトキハ之ヲ其ノ地ノ稅務署長ニ囑託スルコトヲ得

第十三條 收稅官吏犯則事件ノ調査ヲ終リタルトキハ之ヲ稅務署長ニ報告スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ直ニ告發スヘシ

- 一 犯則嫌疑者ノ居所分明ナラサルトキ
- 二 犯則嫌疑者逃走ノ虞アルトキ
- 三 證憑湮滅ノ虞アルトキ



第十四條 稅務署長ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ理由ヲ明示シ罰金若ハ科料ニ相當スル金額、沒收品ニ該當スル物品、徵收金ニ相當スル金額及書類送達並差押物件ノ運搬、保管ニ要シタル費用ヲ指定ノ場所ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシ但シ沒收品ニ該當スル物品ニ付テハ納付ノ申出ノミヲ爲スヘキ旨ヲ通告スルコトヲ得犯則者通告ノ旨ヲ履行スルノ資力ナシト認ムルトキハ前項ノ通告ヲ要セス直ニ告發スヘシ

第十五條 第十四條ノ通告アリタルトキハ公訴ノ時效ヲ中斷ス

第十六條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ

第十四條 第一項但書ニ依ル通告ニ對シ犯則者通告ノ旨ヲ履行シタル場合ニ於テ沒收品ニ該當スル物品ヲ所持スルトキハ公賣其ノ他必要ノ處

分ヲ爲ス迄之ヲ保管スルノ義務アルモノトス但シ保管ニ要スル費用ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第十七條 犯則者通告ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ履行セサルトキハ稅務署長ハ告發ノ手續ヲ爲スヘシ但シ七日ヲ過クルモ告發前ニ履行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

犯則者ノ居所分明ナラサル爲又ハ犯則者書類ノ受領ヲ拒ミタル爲通告スルコト能ハサルトキ亦前項ニ同シ

第十八條 犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押物件アルトキハ差押目錄ト共ニ裁判所ニ引繼クヘシ

前項ノ差押物件所有者所持者又ハ市町村ノ保管ニ係ルトキハ保管證ヲ以テ引繼ヲ爲シ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

第十九條 稅務署長犯則事件ヲ調査シ犯則ノ心證ヲ得サルトキハ其ノ旨



ヲ犯則嫌疑者ニ通知シ物件ノ差押アルトキハ之カ解除ヲ命スヘシ  
 第二十條 本法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ勅令ノ定ムル所ニ依ル  
 第二十一條 本法中市町村吏員又ハ市町村トアルハ市制町村制ヲ施セザ  
 ル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ適用ス

間接國稅犯則者處分法施行規則（拔萃）

明治三十三年三月二十三日  
 勅令 第五二號

第二條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ所有者、  
 所持者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルトキハ之ニ封印ヲ爲シ若ハ其ノ  
 他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスヘシ  
 第三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、帳簿、書類ノ名稱、箇數、差  
 押ノ場所及時、所持者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ

第四條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ之ヲ官廳  
 又ハ市町村ニ送致スルトキハ差押目錄ノ謄本ヲ其ノ所持者ニ交付スヘ  
 シ

第五條 收稅官吏市町村ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルトキハ其ノ  
 旨ヲ差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第八條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキ調製スル顛  
 末書ニハ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ノ事實、場所及時並供述ノ要領ヲ

記載スヘシ

第十二條 犯則事件ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字  
 ノ挿入、削除又ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ  
 文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ



# 法人ニ於テ租税ニ關シ事犯アリタルトキ

## 處罰制

明治三十三年三月十三日  
法律第五十二號

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租  
税及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シ  
タル罰則ヲ法人ニ適用ス但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處ス  
ヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス  
第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以  
内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ納完セサルトキハ民事訴訟法第六編  
ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執  
行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス  
前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

明治四十五年二月二十三日印刷  
明治四十五年二月二十八日發行

定價金拾六錢

編輯者

千葉縣蠶業取締所

印刷兼發行者

股野 潜

千葉縣千葉郡千葉町  
寒川九百八十九番地

發行所

積成 舍

千葉縣千葉郡千葉町  
寒川九百八十九番地





